

**広域鹿嶋 RDF センター解体撤去工事
アスベスト事前調査結果**

事前調査結果

(1) 工場棟

本工事の実施に向けて、本組合にて令和7年3月にアスベストの事前調査を行っている。

事前調査結果を表1-1～1-6及び図1-6～1-24に示す。

◆表1-1 アスベストの分析結果（1）

鹿島地方事務組合 管理者 石田 進 様

報告書 E01008596901A

報告年月 2025年3月

事前調査等結果報告書

物件名称：6アスベスト調査業務委託（広域鹿嶋RDFセンター）

株式会社環境管理センター
ソリューション事業部
東京都八王子市散田町3-7-23
Tel 042-673-0503

事前調査の結果について、次の通り報告します。

事前調査を終了した年月日	2025 年 3 月 28 日			
調査方法	■ 設計図書調査	■ 目視調査	■ 試料採取	
建築物等の概要	建築物(棟)名称	工場棟		
	建築物所在地	茨城県鹿嶋市大字平井2264番地		
	構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 準耐火 <input type="checkbox"/> その他 / 木造 <input type="checkbox"/> SRC造 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> その他		
	階数	地下 - 階 / 地上 3 階 / 塔屋 - 階		
	延べ面積	6,906.971 m ²	用途 ごみ処理施設	
	着工日	1999 年 9 月 1 日		
	竣工年	2001 年 増改築・改修の履歴	-	
	増築年	- 年 改築・改修年	- 年	
書面による調査及び目視による調査（事前調査）を行った者	氏名	大宮 秀介		
	資格名等	■ 一般 <input type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 一戸建て等 <input type="checkbox"/> その他		
	講習実施機関の名称	一般社団法人 企業環境リスク解決機構		
分析による調査（分析調査）を行った者	氏名	結城 健一		
	講習実施機関の名称	公益社団法人 日本作業環境測定協会		
	所属する機関又は法人の名称	株式会社環境管理センター 技術センター		
分析による調査（分析調査）を行った箇所	試験結果報告書、採取図面 参照			
調査対象範囲	■ 全部屋	□ その他 ()		
調査結果概要（石綿建材が確認された建築材料の種類、未調査箇所）	建築材料の種類	□ 吹付け材 <input type="checkbox"/> 保温材等 <input checked="" type="checkbox"/> 成形板等 <input checked="" type="checkbox"/> 仕上塗材		
	未調査箇所	■ 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		

◆表 1-2 アスベストの分析結果（2）

建築材料の種類 (作業対象の材料の種類)	事前調査の結果 (石綿使用の有無)				特定建築材料に該当しない (石綿使用なし) と判断した根拠				
	石綿 有	みな し	石綿 無	不明	①目視	②設計図書等 (④を除く。)	③分析	④建築材料製造者による証明	⑤建築材料の製造年月日
吹付け材	□	□	■	□	① □	② □	③ ■	④ □	⑤ □
保温材	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
煙突断熱材	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
屋根用折板断熱材	□	□	■	□	① □	② □	③ ■	④ □	⑤ □
耐火被覆材 (吹付け材を除き、けい酸カルシウム板第2種を含む)	□	□	■	□	① □	② □	③ ■	④ □	⑤ □
仕上塗材	■	□	■	□	① □	② □	③ ■	④ □	⑤ □
スレート波板	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
スレートボード	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
屋根用化粧スレート	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
けい酸カルシウム板第1種	□	□	■	□	① □	② □	③ ■	④ □	⑤ □
押出成形セメント板	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
パルプセメント板	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
ビニル床タイル	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
窯業系サイディング	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
石膏ボード	□	□	■	□	① □	② □	③ ■	④ □	⑤ □
ロックウール吸音天井板	□	□	■	□	① □	② □	③ ■	④ □	⑤ □
その他の材料	■	■	■	□	① ■	② □	③ ■	④ □	⑤ □

□ : アスベスト含有建材を示す。

◆表1-3 アスベストの分析結果（3）

調査報告詳細

目視調査の結果、アスベスト含有疑義建材48建材を抽出し、採取分析を行った。調査結果を表1、2に示す。また、現地で未調査となった箇所をアスベスト含有建材使用範囲図に示す。

なお、表3に示すたわみ継手、パッキン、ガスケットは、各建材の使用範囲が小さく同一性の判断が困難なため、アスベスト含有みなし建材とした。

表1 (1) 調査結果（分析結果）

依頼No.	採取箇所（採取部位）	分析結果			建材の種類※ ^I
		アスベストの有無	アスベストの種類	推定アスベスト質量分率（%）	
338419	機械室1 柱・梁 吹付けロックウールA	無	—	—	—
338420	機械室3区画 柱・梁 吹付けロックウールB	無	—	—	—
338421	事務所区画 柱・梁 吹付けロックウールC	無	—	—	—
338422	1階 前室3 柱 けい酸カルシウム板第2種A	無	—	—	—
338423	4階 点検歩廊 柱・梁 けい酸カルシウム板第2種B	無	—	—	—
338424	事務所区画 柱・梁 けい酸カルシウム板第2種C	無	—	—	—
338425	2階 受入れコンペアステージ 壁 けい酸カルシウム板第2種 (コンペア取付部)	無	—	—	—
338426	ケーブル貫通部 けい酸カルシウム板第2種 (厚)	無	—	—	—
338427	ケーブル貫通部 けい酸カルシウム板第2種 (薄)	無	—	—	—
338428	2階 防臭室 壁・天井 折板断熱材	無	—	—	—
338429	屋根 屋根用折板断熱材	無	—	—	—
338430	2階 受入れコンペアステージ 巾木 仕上材（白）	無	—	—	—
338431	機械室2 設備基礎 仕上材（オフホワイト）	無	—	—	—
338432	機械室2 設備基礎 仕上材（薄灰）A	無	—	—	—
338433	1階 プラットホーム 壁 仕上材（薄灰）B	有	クリソタイル	0.1-5	仕上塗材※ ^{II}
338434	工場棟 腰壁 仕上材（灰）	有	クリソタイル	0.1-5	仕上塗材※ ^{II}
338435	1階 電気室 壁 仕上材（アイボリー）	有	クリソタイル	0.1-5	仕上塗材※ ^{II}
338436	1階 積出室 壁 仕上材（薄灰）（ALC下地）	無	—	—	—
338437	外腰壁 塗装材（灰） (東面)	有	クリソタイル	0.1-5	仕上塗材※ ^{II}
338438	外腰壁 塗装材（灰） (西面)	有	クリソタイル	0.1-5	仕上塗材※ ^{II}
338439	外腰壁 塗装材（灰） (南面)	有	クリソタイル	0.1-5	仕上塗材※ ^{II}

□ : アスベスト含有建材を示す。

◆表1-4 アスベストの分析結果（4）

表1(2) 調査結果(分析結果)

No.	採取箇所(採取部位)	分析結果			建材の種類※ ¹
		アスベストの有無	アスベストの種類	推定アスベスト質量分率(%)	
338440	外腰壁 塗装材(灰)(北面)	有	クリソタイル	0.1-5	仕上塗材※ ²
338441	外壁 塗装材(白)(ALC下地)(東面)	無	—	—	—
338442	外壁 塗装材(白)(ALC下地)(西面)	無	—	—	—
338443	外壁 塗装材(白)(ALC下地)(南面)	無	—	—	—
338444	外壁 塗装材(白)(ALC下地)(北面)	無	—	—	—
338445	2階 男子便所 壁 けい酸カルシウム板第1種 (クロス仕上) +下地せっこうボード	無	—	—	—
338446	機械室1 壁 けい酸カルシウム板第1種A	無	—	—	—
338447	4階 点検歩廊 天井 けい酸カルシウム板第1種B	無	—	—	—
338448	庇裏 けい酸カルシウム板第1種C	無	—	—	—
338449	1階 エントランスホール 床 下地材(タイル下地)	無	—	—	—
338450	2階 廊下 床 ビニル床シート(薄灰)	有	クリソタイル	0.1-5	成形板等
338451	2階 男子便所 床 ビニル床シート(灰)	無	—	—	—
338452	3階 中央制御室 床 フリーーアクセスフロア (セメント質) +接着剤	無	—	—	—
338453	2階 非常用発電機室 床 塗床(薄灰)	有	クリソタイル	0.1-5	成形板等
338454	床 塗床(灰)	無	—	—	—
338455	床 塗床(緑)	無	—	—	—
338456	床 塗床(茶)	無	—	—	—
338457	2階 廊下 巾木 ソフト巾木(濃茶)	無	—	—	—
338458	3階 屋上室外機置場 立上り 露出アスファルト防水	有	トレモライト/アクチナイト	0.1-5	成形板等
338459	2階 湯沸室 壁 下地材(磁器タイル下地)	無	—	—	—
338460	2階 廊下 壁 せっこうボード (クロス仕上)(白・格子)	無	—	—	—

□ : アスベスト含有建材を示す。

◆表1-5 アスベストの分析結果（5）

表1 (3) 調査結果（分析結果）

No.	採取箇所（採取部位）	分析結果			建材の種類※1
		アスベストの有無	アスベストの種類	推定アスベスト質量分率（%）	
338461	2階 受入れコンペアステージ 壁 せっこうボード (塗装仕上) (コンペア取付部)	無	—	—	—
338462	3階 廊下2 吹抜け壁 せっこうボード (塗装仕上) (白)	無	—	—	—
338463	外壁 シーリング材	無	—	—	—
338464	3階 廊下2 天井 せっこうボード (化粧)	無	—	—	—
338465	2階 廊下 天井 ロックウール吸音天井板 +下地せっこうボード	無	—	—	—
338466	ケーブル貫通部 耐火パテ	無	—	—	—

表2 調査結果（アスベスト含有建材）

建材の種類※1	部位	建材名称	判断根拠	No.	主な使用箇所	備考
石綿含有吹付け材	—	—	—	—	—	—
石綿含有保温材等	—	—	—	—	—	—
石綿含有成形板等	床	ビニル床シート (薄灰)	分析	338450	2階 廊下 等	ビニル床シート層： 不検出 接着剤層：検出
	床	塗床 (薄灰)	分析	338453	1階 EPS、 2階 非常用発電機室 等	—
	立上り	露出アスファルト 防水	分析	338458	3階 屋上室外機置場	—
石綿含有仕上塗材	壁	仕上材 (薄灰) B	分析	338433	1階 プラットホーム	全2層 表層より 1層目 薄灰色層： 不検出 2層目 薄灰色層：検出
	腰壁	仕上材 (灰)	分析	338434	工場棟	全2層 表層より 1層目 灰色層：不検出 2層目 薄灰色層：検出
	壁	仕上材 (アイボリー)	分析	338435	1階 電気室	全2層 表層より 1層目 オフホワイト層： 不検出 2層目 灰色層：検出
	外腰壁	塗装材 (灰) (東面)	分析	338437	外部	全2層 表層より 1層目 灰色層：不検出 2層目 薄灰色層：検出
	外腰壁	塗装材 (灰) (西面)	分析	338438	外部	全2層 表層より 1層目 灰色層：不検出 2層目 薄灰色層：検出
	外腰壁	塗装材 (灰) (南面)	分析	338439	外部	全2層 表層より 1層目 灰色層：不検出 2層目 薄灰色層：検出
	外腰壁	塗装材 (灰) (北面)	分析	338440	外部	全3層 表層より 1層目 灰色層：不検出 2層目 灰色層：検出 3層目 薄灰色層：検出

◆表 1-6 アスベストの分析結果（6）

表3 アスベスト含有みなし建材

建材の種類 ^{※1}	建材名称	部位	主な使用箇所	根拠など
石綿含有吹付け材	-	-	-	-
石綿含有保温材等	-	-	-	-
石綿含有成形板等	たわみ継手	ダクト	機械室2、3 等	各建材の使用範囲が小さく同一性の判断が困難
	パッキン	ダクト	機械室2、3 等	各建材の使用範囲が小さく同一性の判断が困難
	ガスケット	配管	機械室2	各建材の使用範囲が小さく同一性の判断が困難
石綿含有仕上塗材	-	-	-	-

※ I : 建材の種類

「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル(環境省・厚生労働省)」に示された石綿含有建材の種類ごとに応じた分類。

除去等の作業を行う際は、建材の種類や作業内容に応じて、飛散防止対策を取る必要がある。

石綿含有吹付け材 (発じん性が著しく高い建材)

石綿含有保温材等 (発じん性が高い建材)

石綿含有成形板等 (発じん性が比較的低い建材)

石綿含有仕上塗材 (発じん性が比較的低い塗材)

〔建材の種類に対する一般的な作業手順〕

【「(発じん性が著しく高い建材)及び(発じん性が高い建材)について】

「吹き付けられた石綿等の除去等」及び「保温材等を切断等により除去」を行う場合の作業においては、他の作業場所からの隔離、集じん・排気装置の設置、前室及び設備の設置、隔離空間への入退室時の必要な措置、湿潤化等の措置を講じる必要がある。

「保温材等を搔き落とし、切断又は破碎を行わずに、除去等を行う場合」は、床面等必要な部分への隔離養生(負圧不要)、除去する保温材等を薬液等により湿潤化等の措置を講じる必要がある。

【「(発じん性が比較的低い建材)」について】

「石綿含有成形板を除去する作業」においては、切断等により除去する場合は、除去部分を常時湿潤する必要がある。

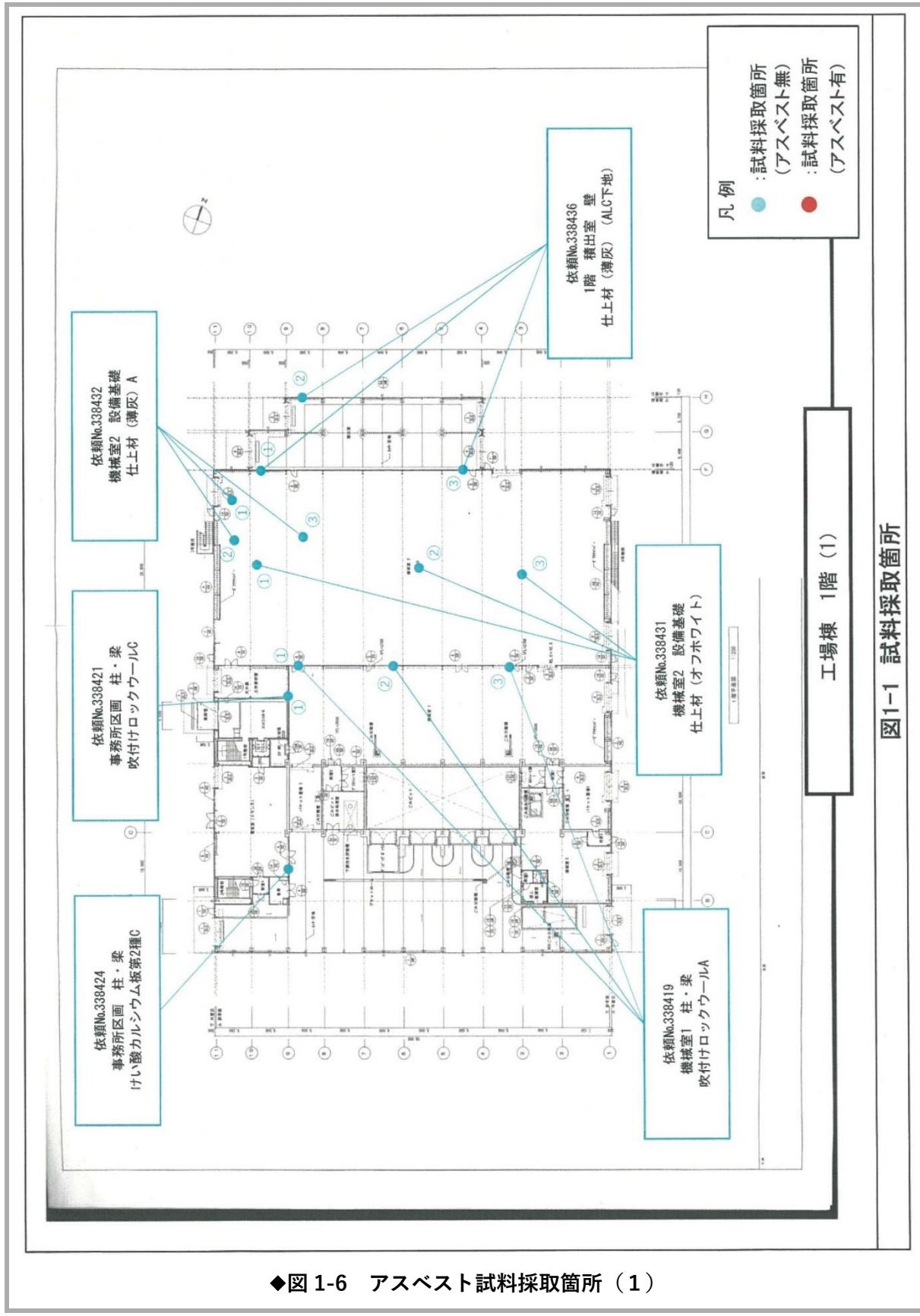
切断等により除去する場合は、除去部分の常時湿潤化、除じん性能を有す電動工具の使用その他の石綿等の粉じんの発生を防止する措置のいずれかの措置を行う。

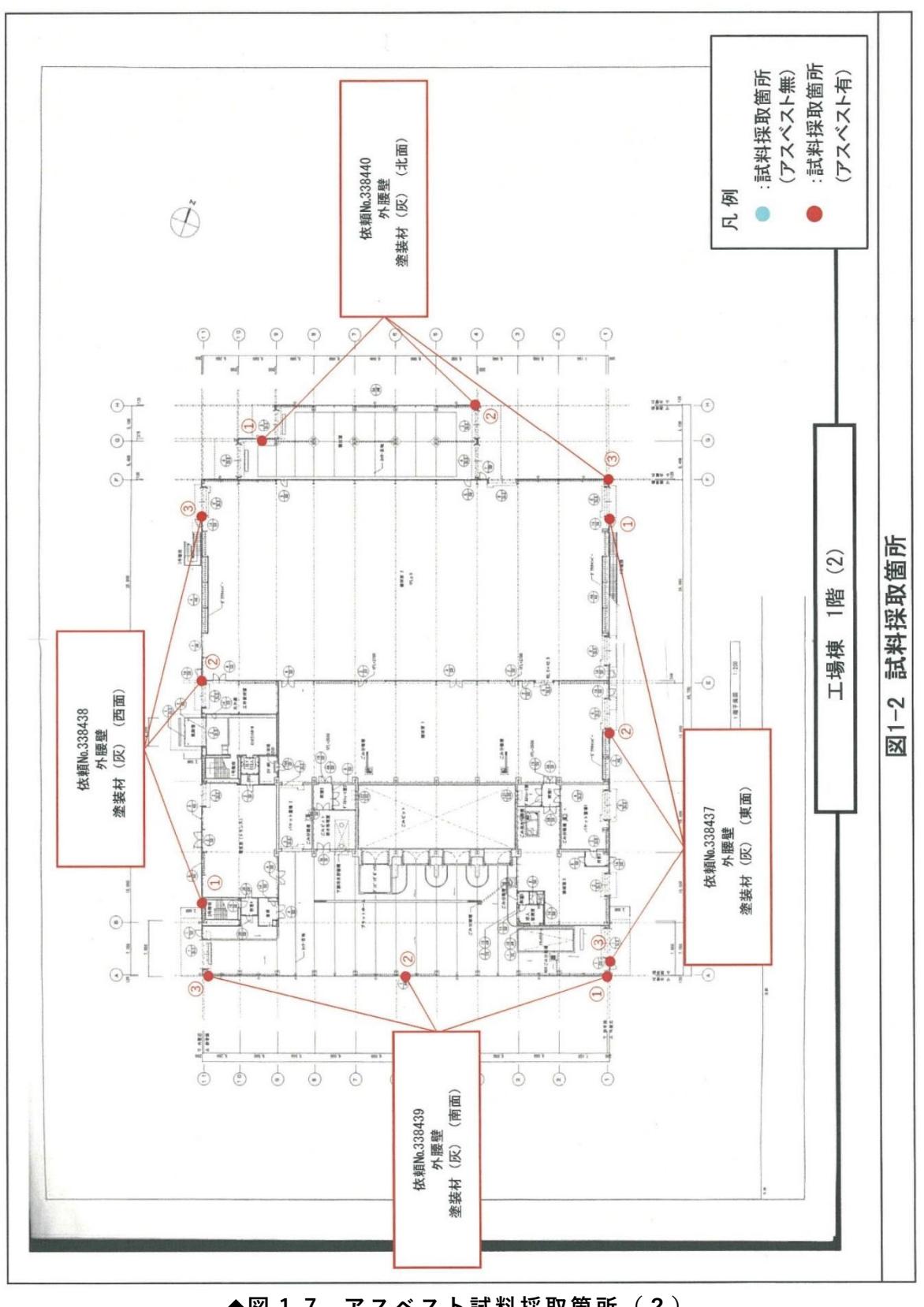
※ II : 仕上塗材と下地調整塗材に係る作業をする場合には、塗材のどの層に石綿があるのかを明らかにして、工法・作業を選択する必要がある。

仕上塗材を除去する場合は、常時湿潤な状態とした上で除去する必要がある。

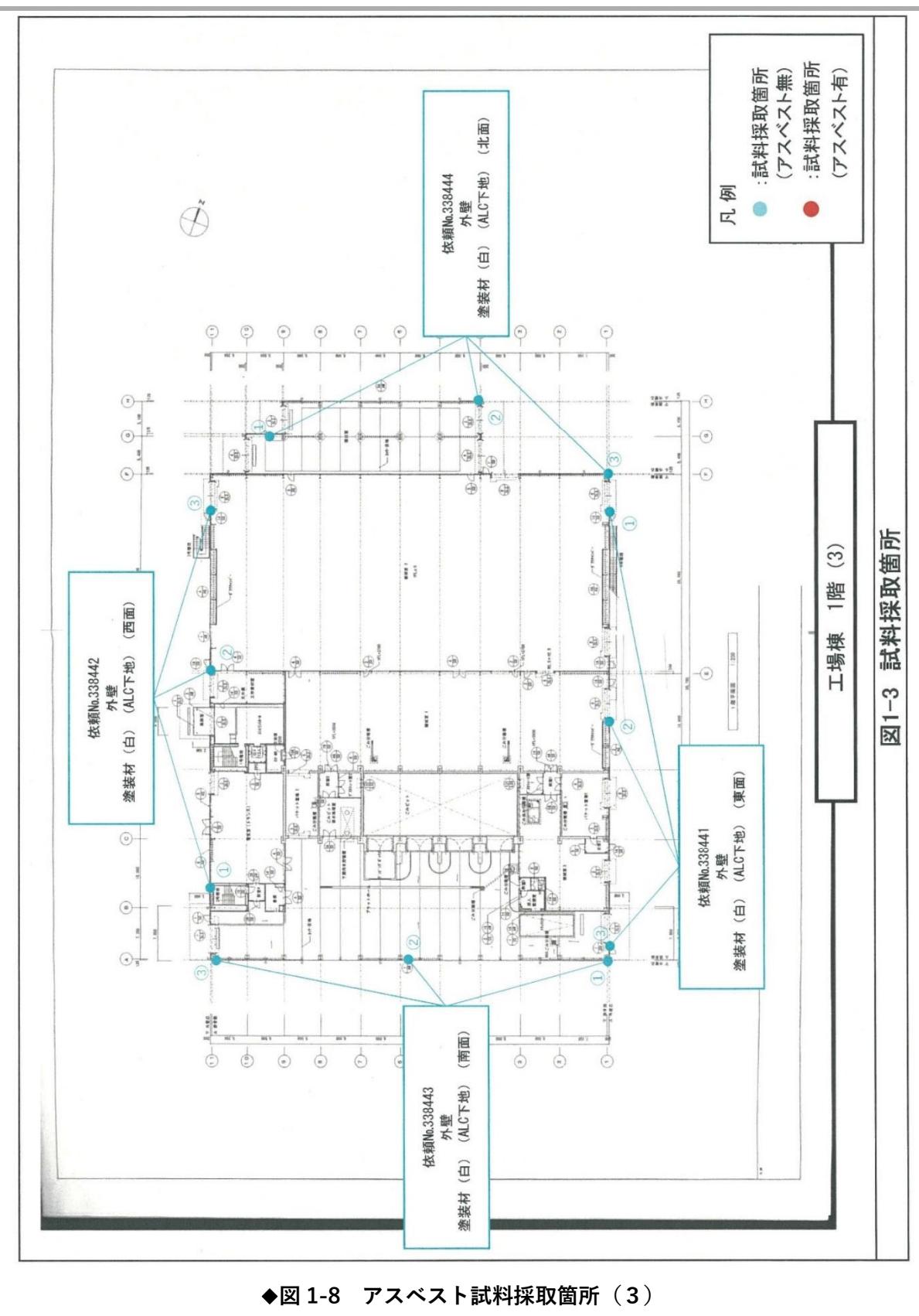
また、電動工具(ディスクグラインダー等)を使用して除去する場合は、作業場所の隔離(負圧不要)を行い、除去部分の常時湿潤化、除じん性能を有す電動工具の使用その他の石綿等の粉じんの発生を防止する措置のいずれかの措置を行つ。

石綿を含有する建築用下地調整塗材は、法令上は石綿含有成形板等の作業基準が適用されるが、除去に当たっては、湿潤化等の措置を実施する必要がある。





◆図 1-7 アスベスト試料採取箇所 (2)



◆図1-8 アスベスト試料採取箇所（3）

図1-3 試料採取箇所

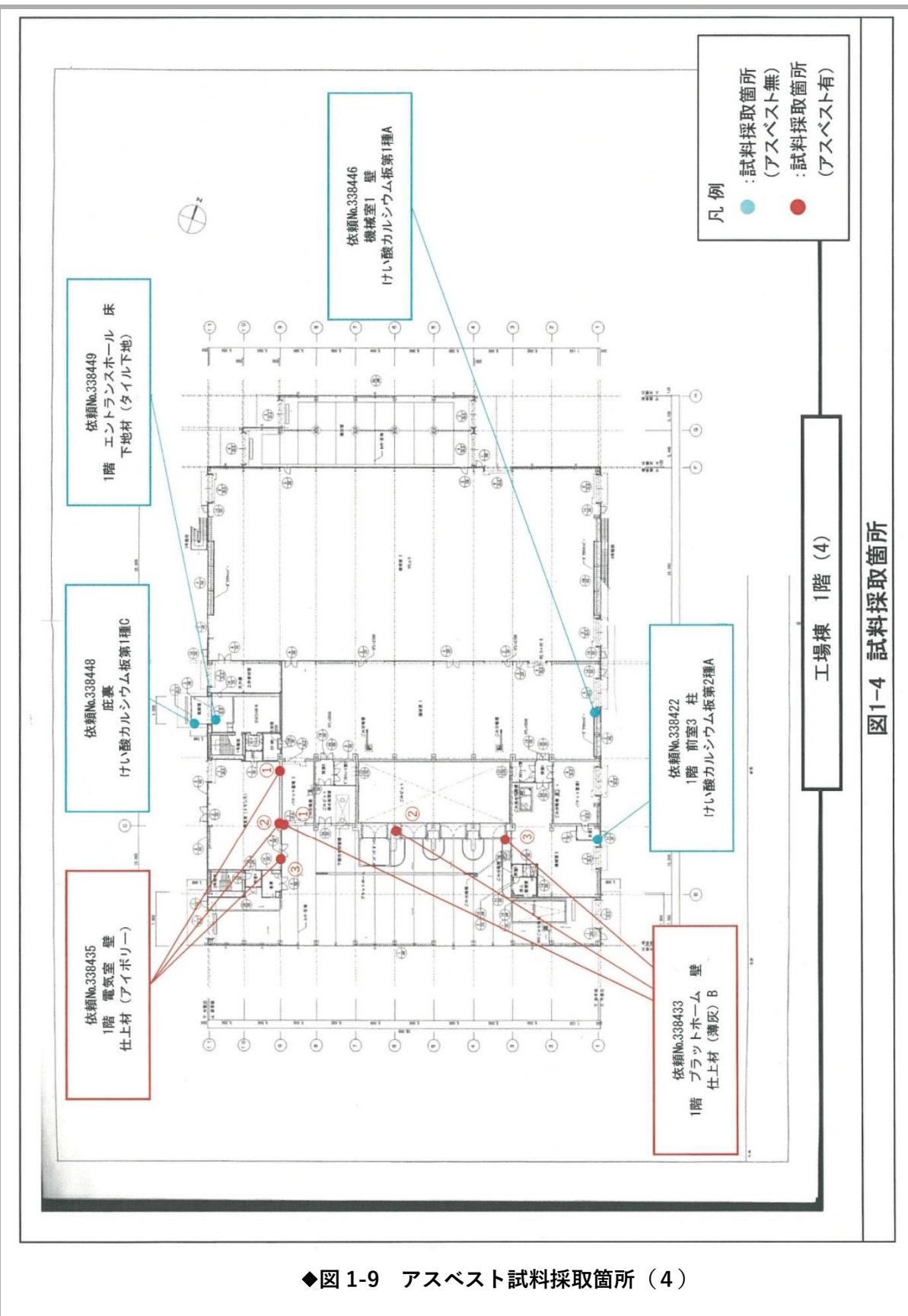
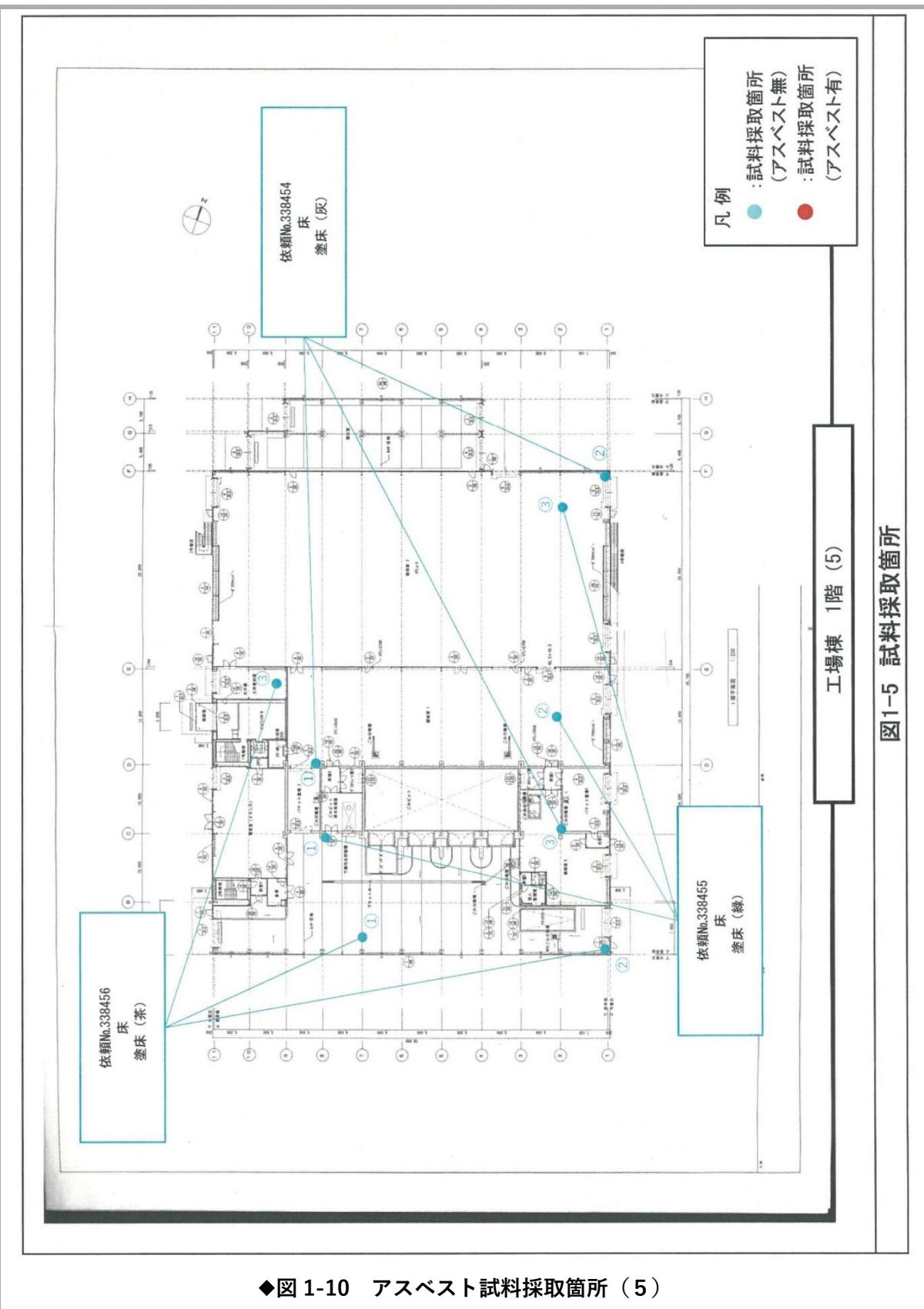
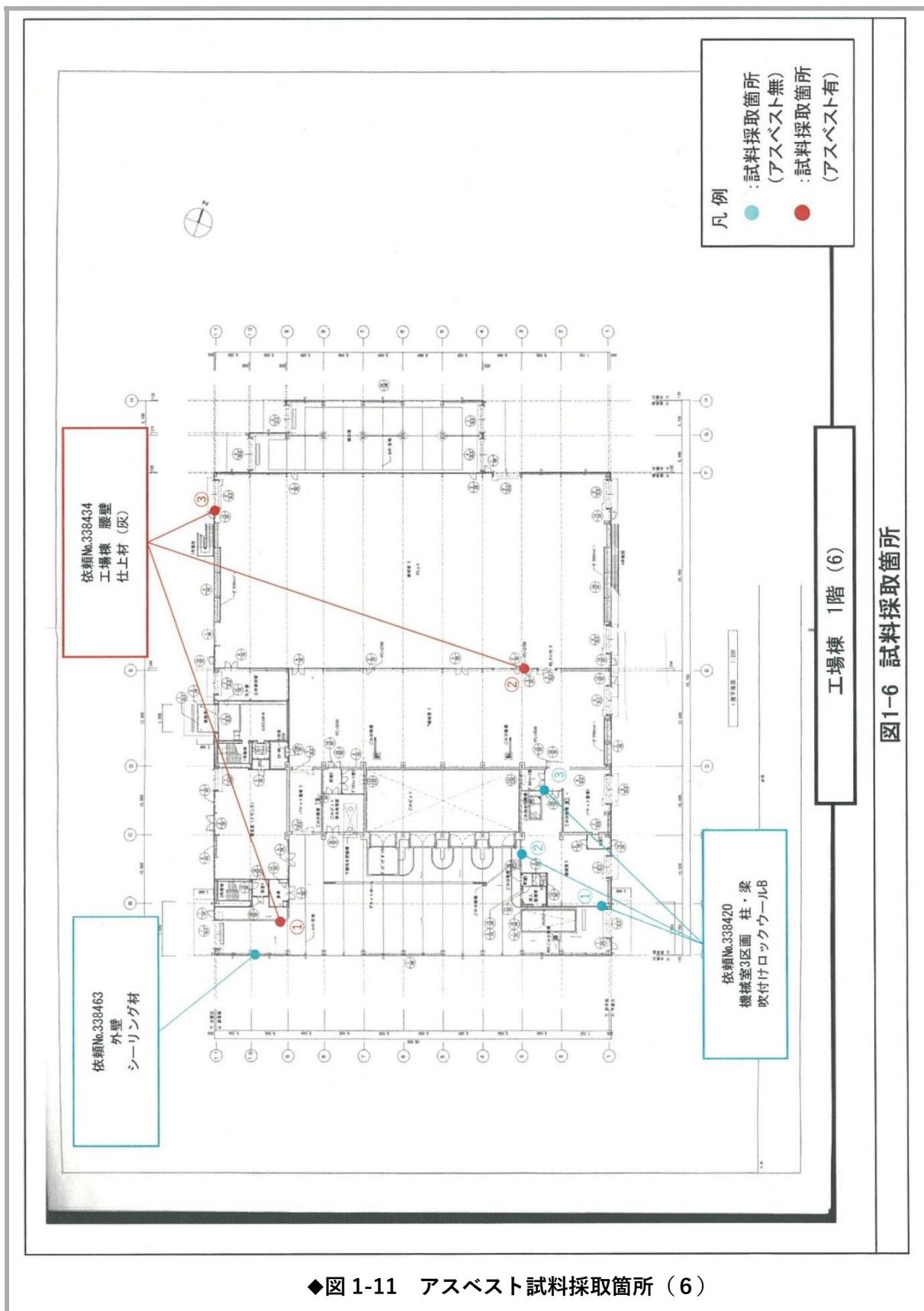


図1-4 試料採取箇所





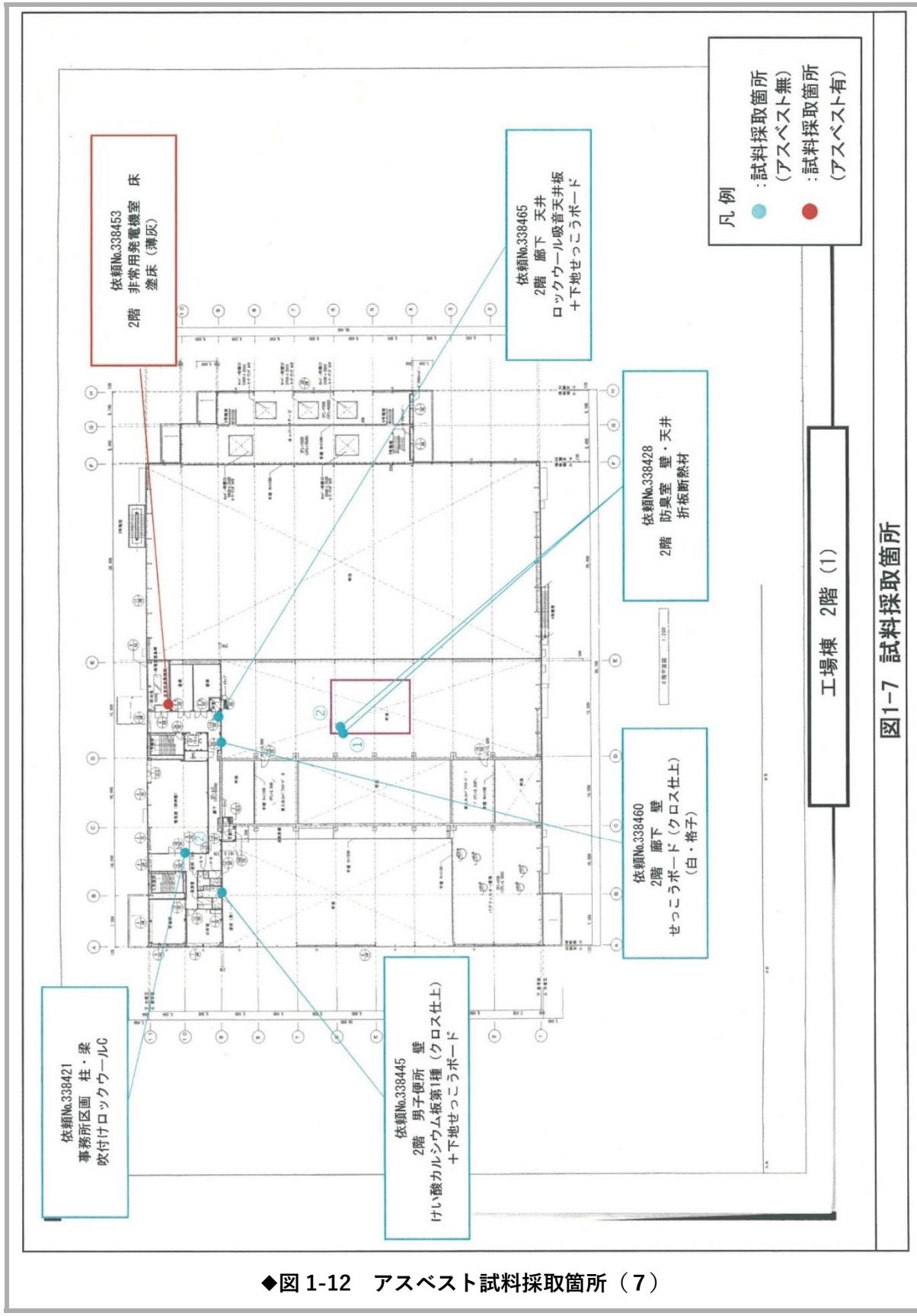
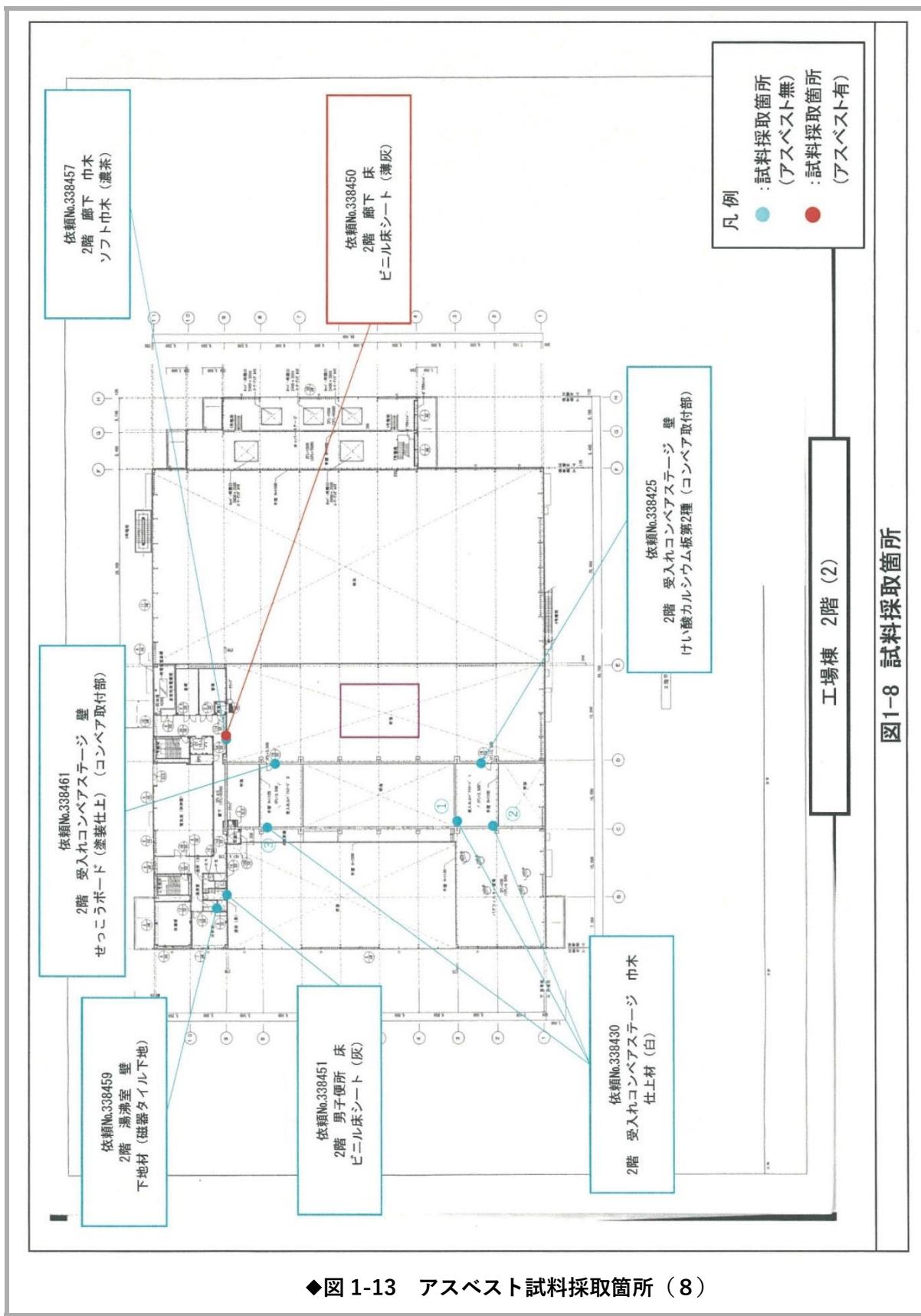
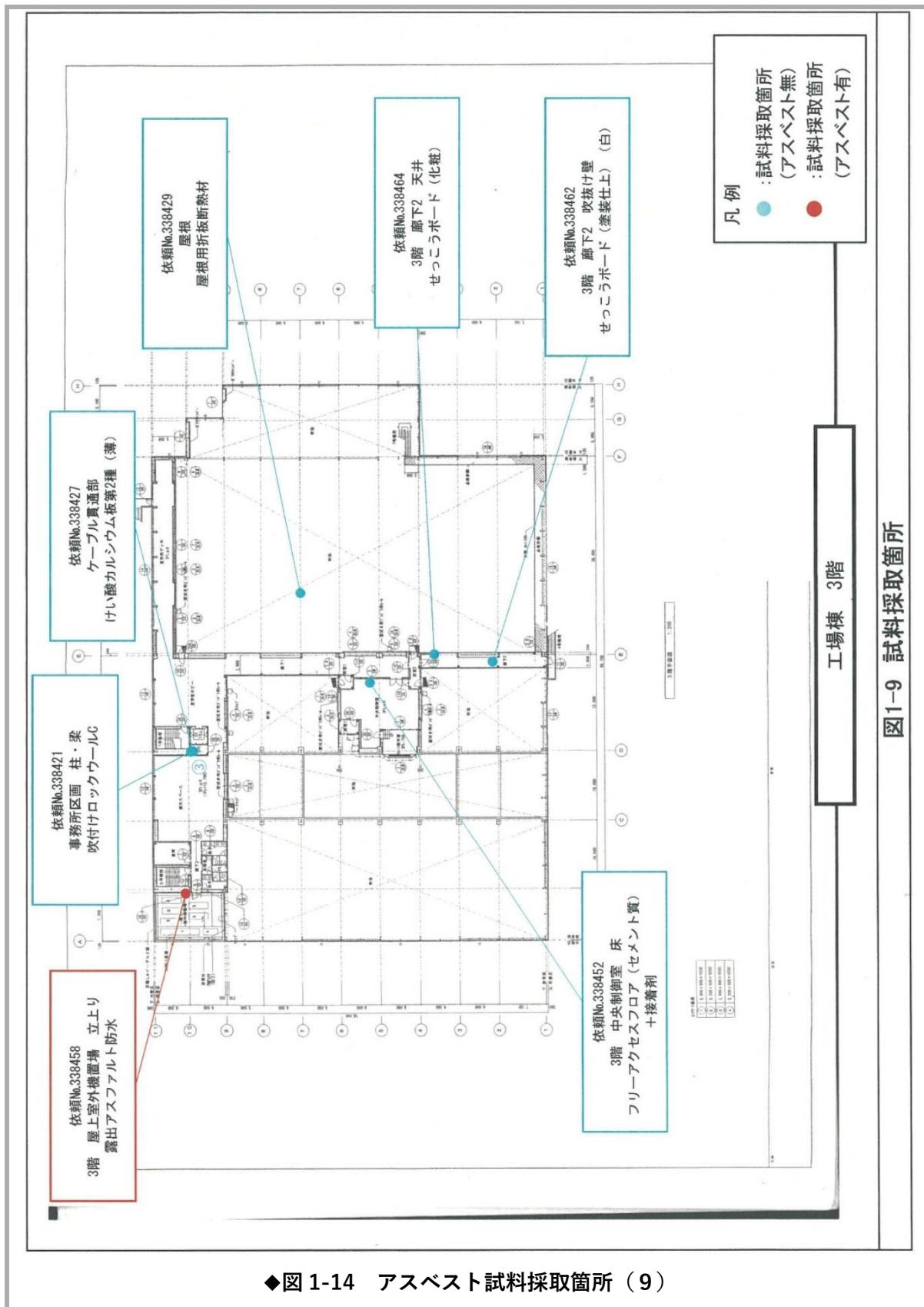
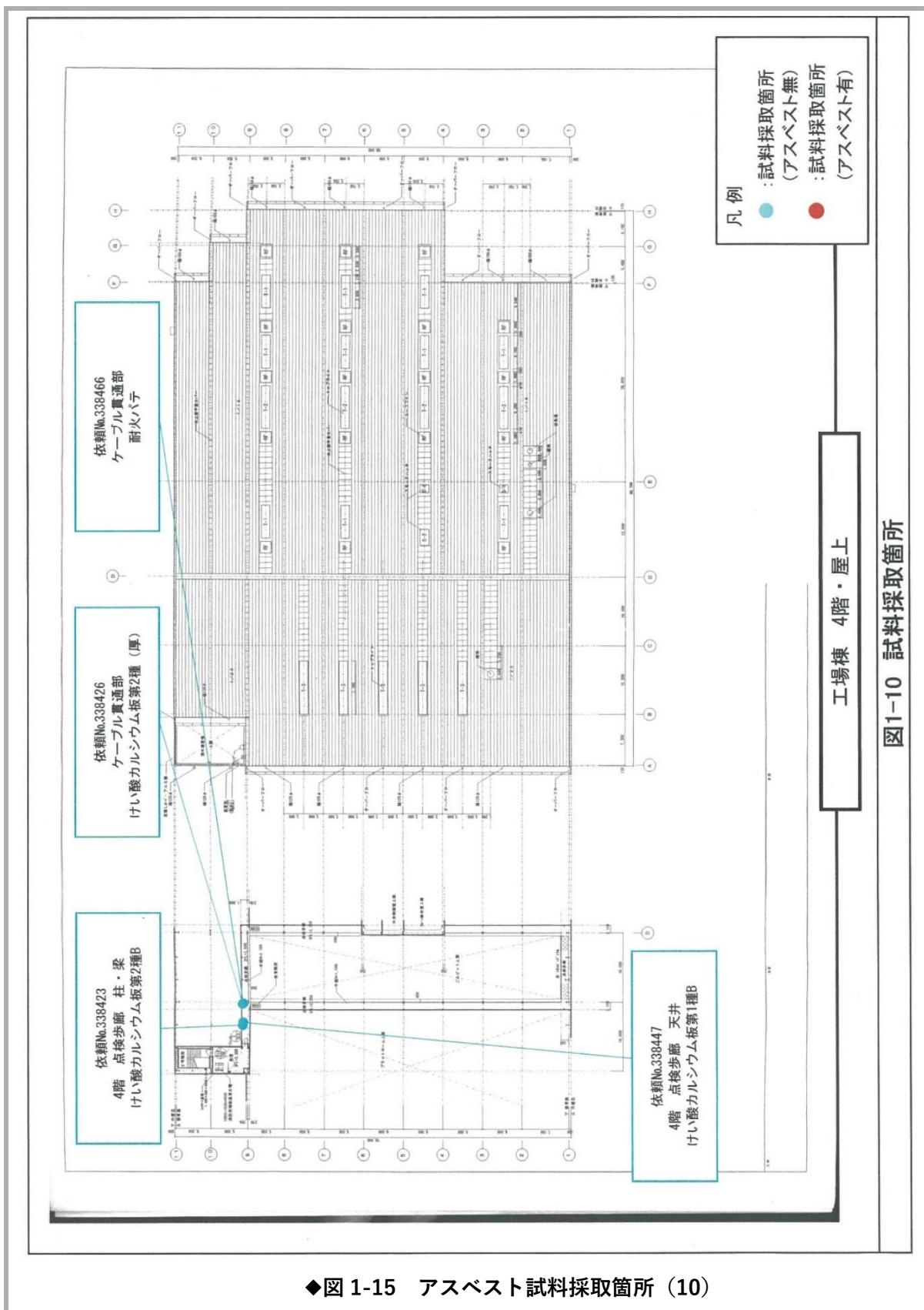
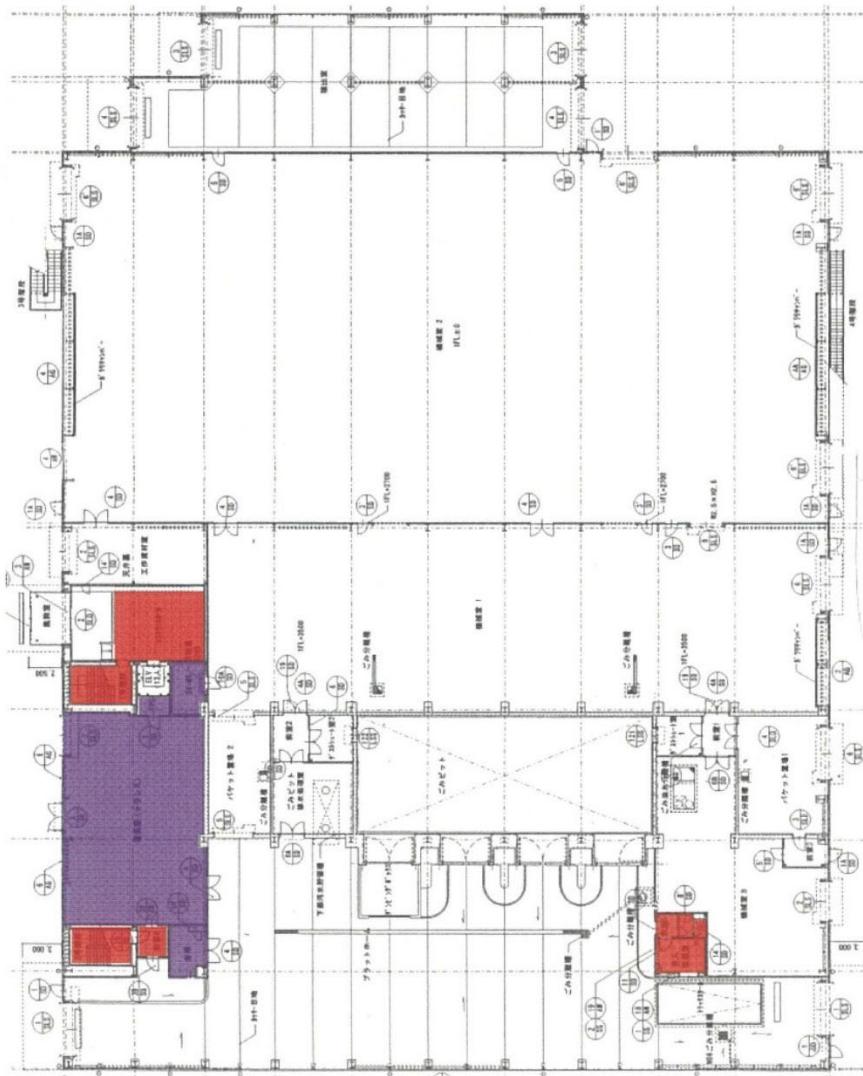


図1-7 試料採取箇所









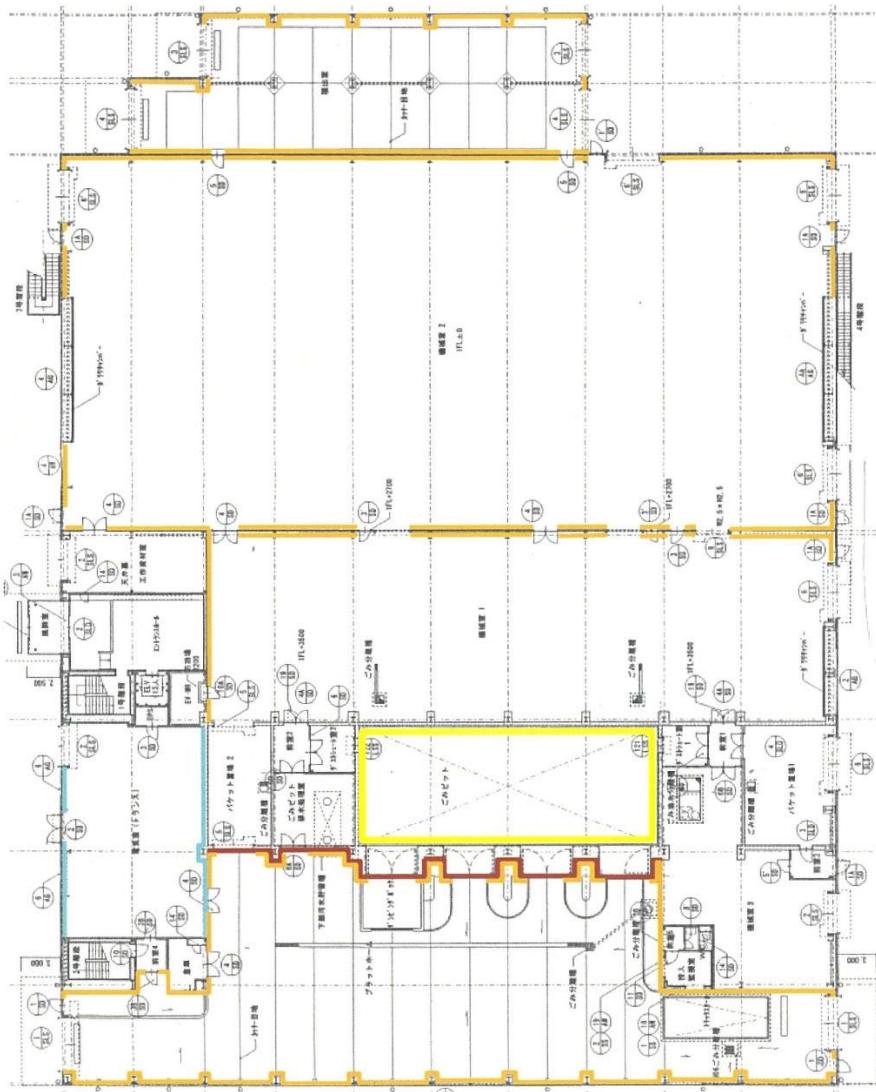
◆図 1-16 アスベスト含有建材使用範囲（1）

凡例

- 床 ビニル床シート(薄灰) (成形板等) 依頼No.338450
- 床 塗床(薄灰) (成形板等) 依頼No.338453

工場棟 1階(1)

図 2-1 アスベスト含有建材使用範囲図(床)

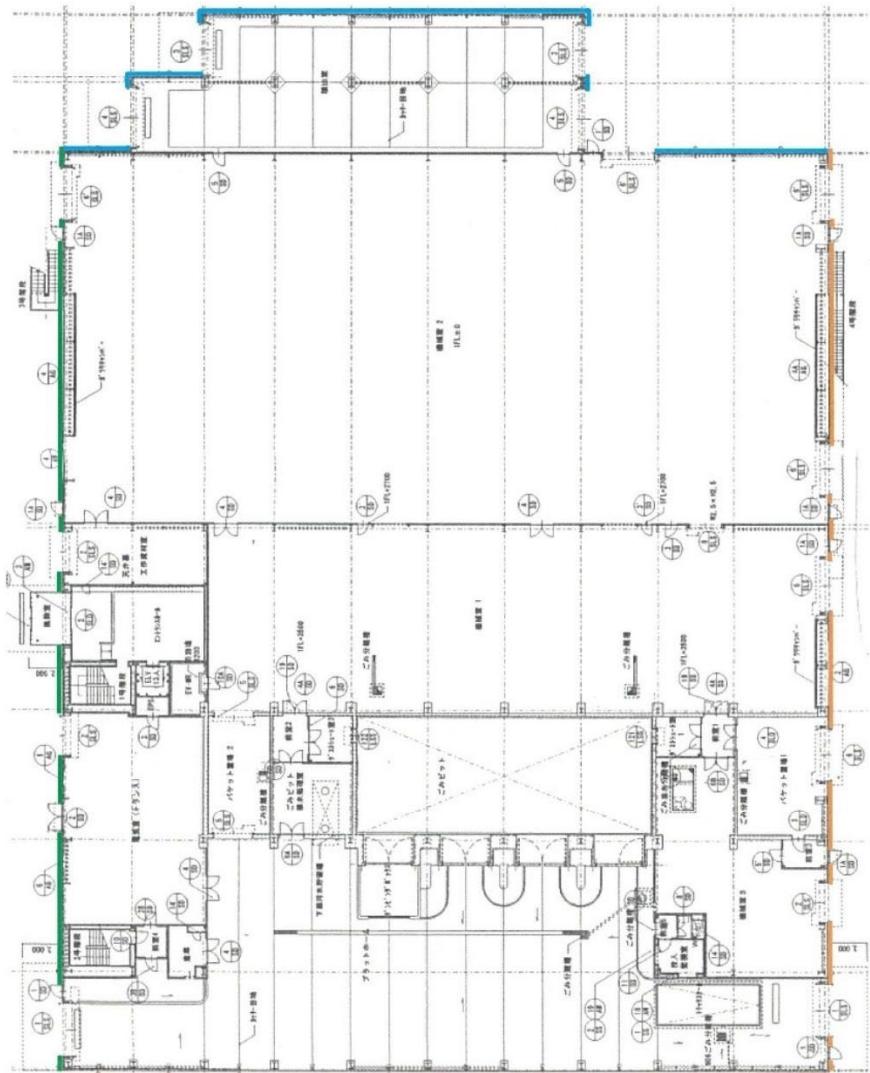


◆図 1-17 アスベスト含有建材使用範囲（2）

図2-2 アスベスト含有建材使用範囲図(壁)
工場棟 1階(2)

凡例

- : 壁上材(薄灰)B (仕上塗材) 依頼No.338433
- : 腰壁 仕上材(灰) (仕上塗材) 依頼No.338434
- : 壁上材(アイボリー) (仕上塗材) 依頼No.338435
- : 未調査箇所



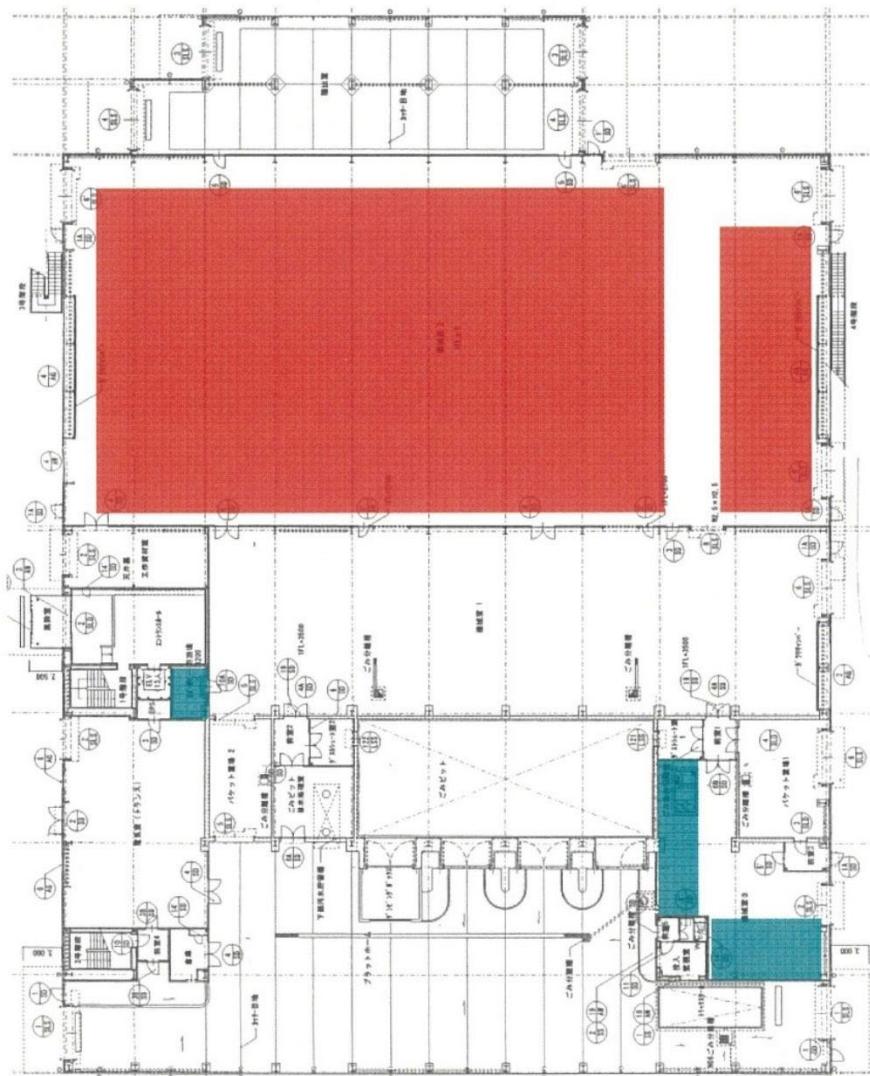
凡例

- : 外腰壁 塗装材(灰)(東面) (仕上塗材) 依頼No.338437
- : 外腰壁 塗装材(灰)(西面) (仕上塗材) 依頼No.338438
- : 外腰壁 塗装材(灰)(南面) (仕上塗材) 依頼No.338439
- : 外腰壁 塗装材(灰)(北面) (仕上塗材) 依頼No.338440

工場棟 1階(3)

図2-3 アスベスト含有建材使用範囲図(外腰壁)

◆図 1-18 アスベスト含有建材使用範囲 (3)

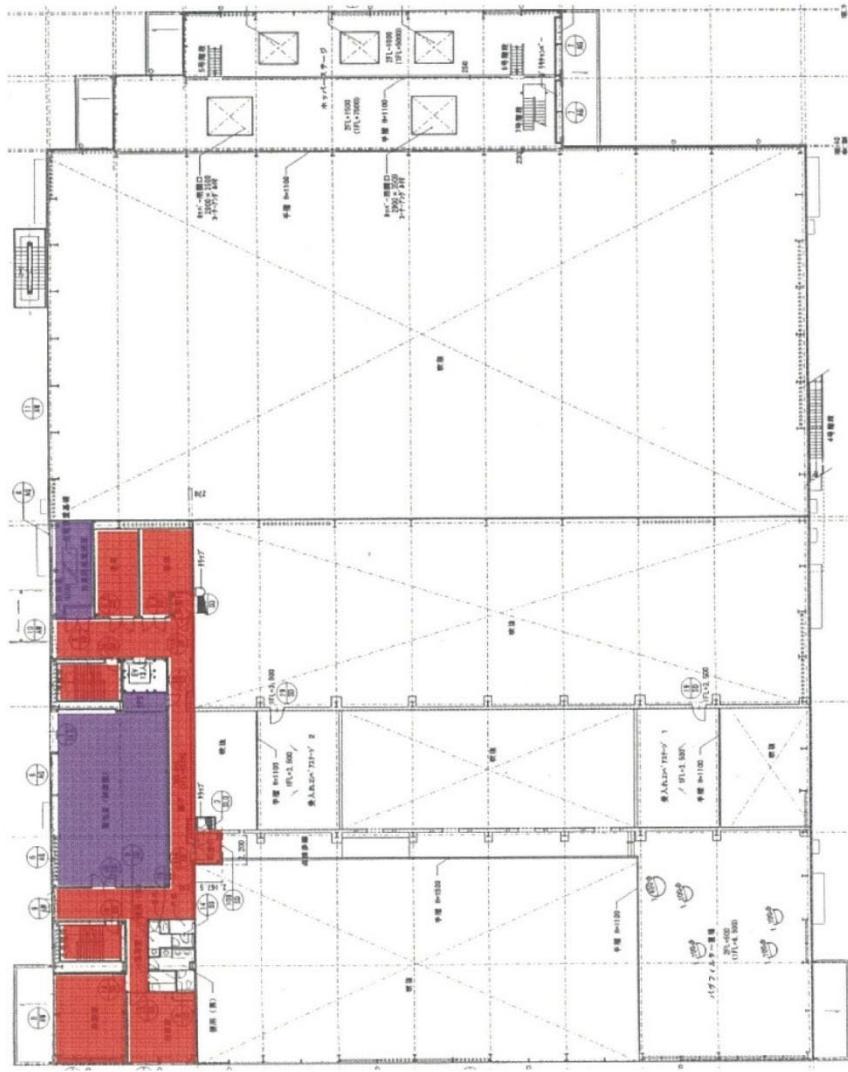


◆図 1-19 アスベスト含有建材使用範囲（4）

凡例

■：設備 たわみ継手、パッキン、ガスケット(成形板等) みなし建材
■：設備 たわみ継手、パッキン(成形板等) みなし建材

図2-4 アスベスト含有建材使用範囲図(設備)
工場棟 1階(4)



凡例

- 床 ビニル床シート(薄灰) (成形板等) 依頼No.338450
- 床 塗床(薄灰) (成形板等) 依頼No.338453

工場棟 2階(1)

図2-5 アスベスト含有建材使用範囲(床)

◆図 1-20 アスベスト含有建材使用範囲（5）



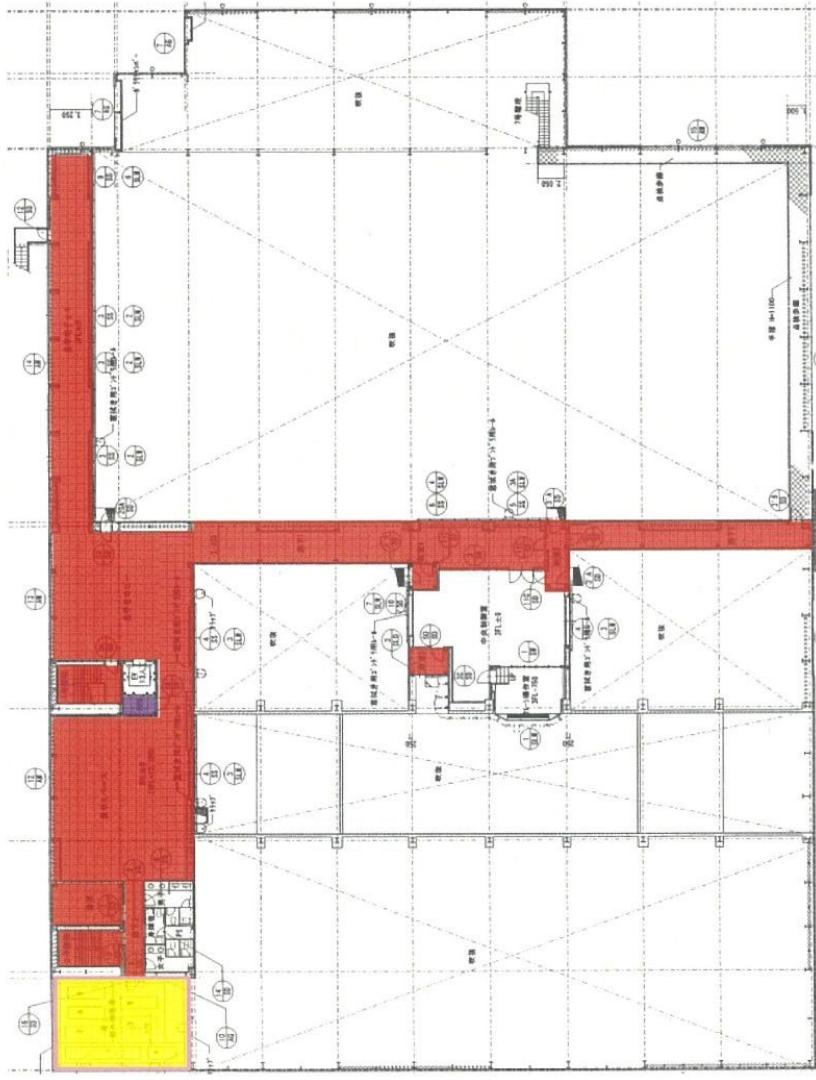
凡例

- 設備 たわみ継手、パッキン、ガスケット(成形板等) みなし建材
- 設備 たわみ継手、パッキン(成形板等) みなし建材
- 設備 パッキン(成形板等)

図2-6 アスペスト含有建材使用範囲図(設備)

工場棟 2階(2)

◆図 1-21 アスペスト含有建材使用範囲 (6)



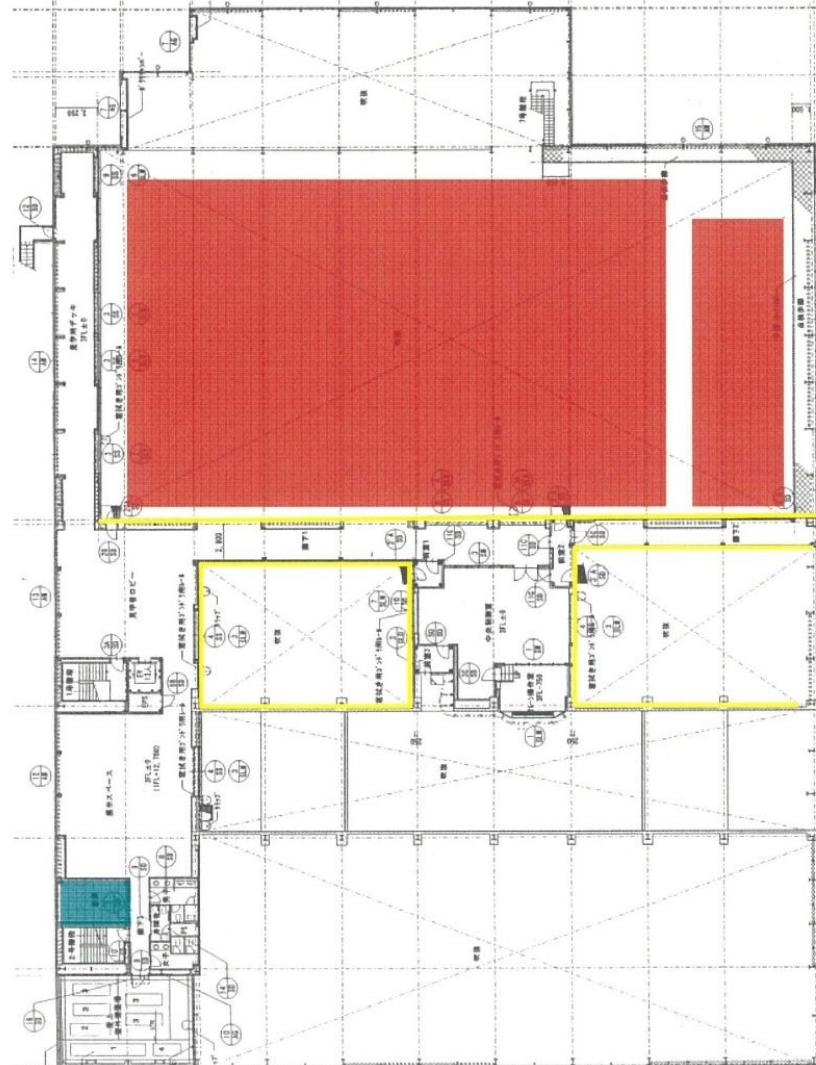
凡例

- 床 ビニール床シート(薄灰)(成形板等) 依頼No.338450
- 床 塗床(薄灰)(成形板等) 依頼No.338453
- 立上り 露出アスファルト防水(成形板等) 依頼No.338458
- 未調査箇所

工場棟 3階(1)

図2-7 アスペスト含有建材使用範囲図(床、立上り)

◆図 1-22 アスペスト含有建材使用範囲 (7)



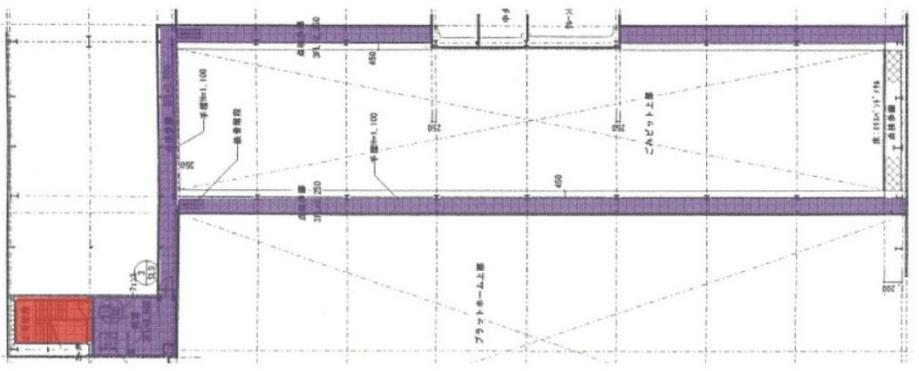
凡例

- : 設備 たわみ継手、パッキン、ガスケット(成形板等) みなし建材
- : 設備 たわみ継手、パッキン(成形板等) みなし建材
- : 未調査箇所

工場棟 3階(2)

◆図 1-23 アスベスト含有建材使用範囲（8）

図2-8 アスベスト含有建材使用範囲図(設備)



◆図 1-24 アスベスト含有建材使用範囲（9）

凡例
■ 床 ビニル床シート(薄灰)(成形板等) 依頼No.338450
■ 床 塗床(薄灰)(成形板等) 依頼No.338453

図2-9 アスベスト含有建材使用範囲図(床)

(2) 管理棟

本工事の実施に向けて、本組合にて令和7年3月にアスベストの事前調査を行っている。
事前調査結果を表2-1～2-4及び図2-5～2-9に示す。

◆表2-1 アスベストの分析結果(1)

鹿島地方事務組合 管理者 石田 進 様

報告書 E01008596902A
報告年月 2025年3月

事前調査等結果報告書

物件名称：6アスベスト調査業務委託（広域鹿嶋RDFセンター）

株式会社環境管理センター
ソリューション事業部
東京都八王子市散田町3-7-23
Tel 042-673-0503

事前調査の結果について、次の通り報告します。

事前調査を終了した年月日	2025年3月28日					
調査方法	■ 設計図書調査	■ 目視調査	■ 試料採取			
建築物等の概要	建築物(棟)名称	管理棟				
	建築物所在地	茨城県鹿嶋市大字平井2264番地				
	構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 準耐火 <input type="checkbox"/> その他 / 木造 <input type="checkbox"/> SRC造 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> その他				
	階数	地下 - 階 / 地上 2 階 / 塔屋 - 階				
	延べ面積	624.155 m ²	用途	ごみ処理施設		
	着工日	1999 年 11 月 1 日				
	竣工年	2001 年	増改築・改修の履歴	-		
	建築年	- 年	改築・改修年	- 年		
書面による調査及び目視による調査 (事前調査)を行った者	氏名	大宮 秀介				
	資格名等	■一般 <input type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 一戸建て等 <input type="checkbox"/> その他				
	講習実施機関の名称	一般社団法人 企業環境リスク解決機構				
分析による調査 (分析調査)を行った者	氏名	奥村 謙介				
	講習実施機関の名称	公益社団法人 日本作業環境測定協会				
	所属する機関 又は法人の名称	株式会社環境管理センター 技術センター				
分析による調査 (分析調査)を行った箇所	試験結果報告書、採取図面 参照					
調査対象範囲	■全部屋	□その他	()			
調査結果概要 (石綿建材が確認された建築材料 の種類、 未調査箇所)	建築材料の種類	□吹付け材 <input type="checkbox"/> 保温材等 <input type="checkbox"/> 成形板等 <input type="checkbox"/> 仕上塗材				
	未調査箇所	■有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>				

◆表 2-2 アスベストの分析結果（2）

調査報告詳細

目視調査の結果、アスベスト含有疑義建材17建材を抽出し、採取分析を行った。調査結果を表1、2に示す。また、現地で未調査となった箇所をアスベスト含有建材使用範囲図に示す。

表1 調査結果（分析結果）

依頼No.	採取箇所（採取部位）	分析結果			建材の種類 ^{*1}
		アスベストの有無	アスベストの種類	推定アスベスト質量分率（%）	
338467	1階 男子便所 壁 けい酸カルシウム板第1種 (クロス仕上) +下地せっこうボード	有	クリソタイル	0.1-5	成形板等 ^{*2}
338468	1階 ポーチ 床 塗床（緑）	無	-	-	-
338469	1階 ポンプ室 床 塗床（薄灰）	無	-	-	-
338470	1階 事務室 床 フリーアクセスフロア (セメント質) +接着剤	無	-	-	-
338471	1階 裏口玄関 床 下地材（タイル下地）A	無	-	-	-
338472	1階 浴室 床・壁 下地材（タイル下地）B	無	-	-	-
338473	外壁 下地材（タイル下地）C	無	-	-	-
338474	1階 男子便所 床 ビニル床シート（薄灰）	無	-	-	-
338475	2階 会議室 床 ビニル床シート（薄黄）	無	-	-	-
338476	2階 会議室 巾木 ソフト巾木	無	-	-	-
338477	2階 室外機スペース 立上り 露出アスファルト防水	有	トルモライト/アクチナイト	0.1-5	成形板等
338478	2階 会議室 壁 せっこうボード (クロス仕上)	無	-	-	-
338479	外壁 シーリング材	無	-	-	-
338480	1階 倉庫 天井 せっこうボード（化粧）	無	-	-	-
338481	1階 休憩室 天井 せっこうボード（杉徴）	無	-	-	-
338482	1階 ポーチ 天井 ロックウール吸音天井板 (リブ付き) +下地せっこうボード	無	-	-	-
338483	2階 会議室 天井 ロックウール吸音天井板 +下地せっこうボード	無	-	-	-

■ : アスベスト含有建材を示す。

◆表 2-3 アスベストの分析結果（3）

建築材料の種類 (作業対象の材料の種類)	事前調査の結果 (石綿使用の有無)				特定建築材料に該当しない (石綿使用なし) と判断した根拠				
	石綿 有	みな し	石綿 無	不明	①目視	②設計図書等 (④を除く。)	③分析	④建築材料製造者による証明	⑤建築材料の製造年月日
吹付け材	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
保温材	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
煙突断熱材	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
屋根用折板断熱材	□	□	■	□	① □	② □	③ ■	④ □	⑤ □
耐火被覆材 (吹付け材を除き、けい酸カルシウム板第2種を含む)	□	□	■	□	① □	② □	③ ■	④ □	⑤ □
仕上塗材	■	□	■	□	① □	② □	③ ■	④ □	⑤ □
スレート波板	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
スレートボード	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
屋根用化粧スレート	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
けい酸カルシウム板第1種	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
押出成形セメント板	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
パルプセメント板	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
ビニル床タイル	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
喫業系サイディング	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
石膏ボード	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
ロックウール吸音天井板	□	□	□	□	① □	② □	③ □	④ □	⑤ □
その他の材料	□	■	■	□	① ■	② □	③ ■	④ □	⑤ □

□ : アスベスト含有建材を示す。

◆表 2-4 アスベストの分析結果（3）

表2 調査結果（アスベスト含有建材）

建材の種類※I	部位	建材名称	判断根拠	依頼No.	主な使用箇所	備考
石綿含有吹付け材	-	-	-	-	-	-
石綿含有保温材等	-	-	-	-	-	-
石綿含有成形板等	壁	けい酸カルシウム板 第1種（クロス仕上） +下地せっこうボード	分析	338467	1階 男子便所、 ウェルカムホール 等	けい酸カルシウム板 第1種層：検出 クロス仕上層：不検出 下地せっこうボード： 不検出
	立上り	露出アスファルト防水	分析	338477	2階 室外機スペース	-
石綿含有仕上塗材	-	-	-	-	-	-

※ I : 建材の種類
「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル（環境省・厚生労働省）」に示された石綿含有建材の種類ごとに応じた分類。

除去等の作業を行う際は、建材の種類や作業内容に応じて、飛散防止対策を取る必要がある。

石綿含有吹付け材 (発じん性が著しく高い建材)

石綿含有保温材等 (発じん性が高い建材)

石綿含有成形板等 (発じん性が比較的低い建材)

石綿含有仕上塗材 (発じん性が比較的低い塗材)

＜建材の種類に対する一般的な作業手順＞

【「（発じん性が著しく高い建材）及び（発じん性が高い建材）」について】

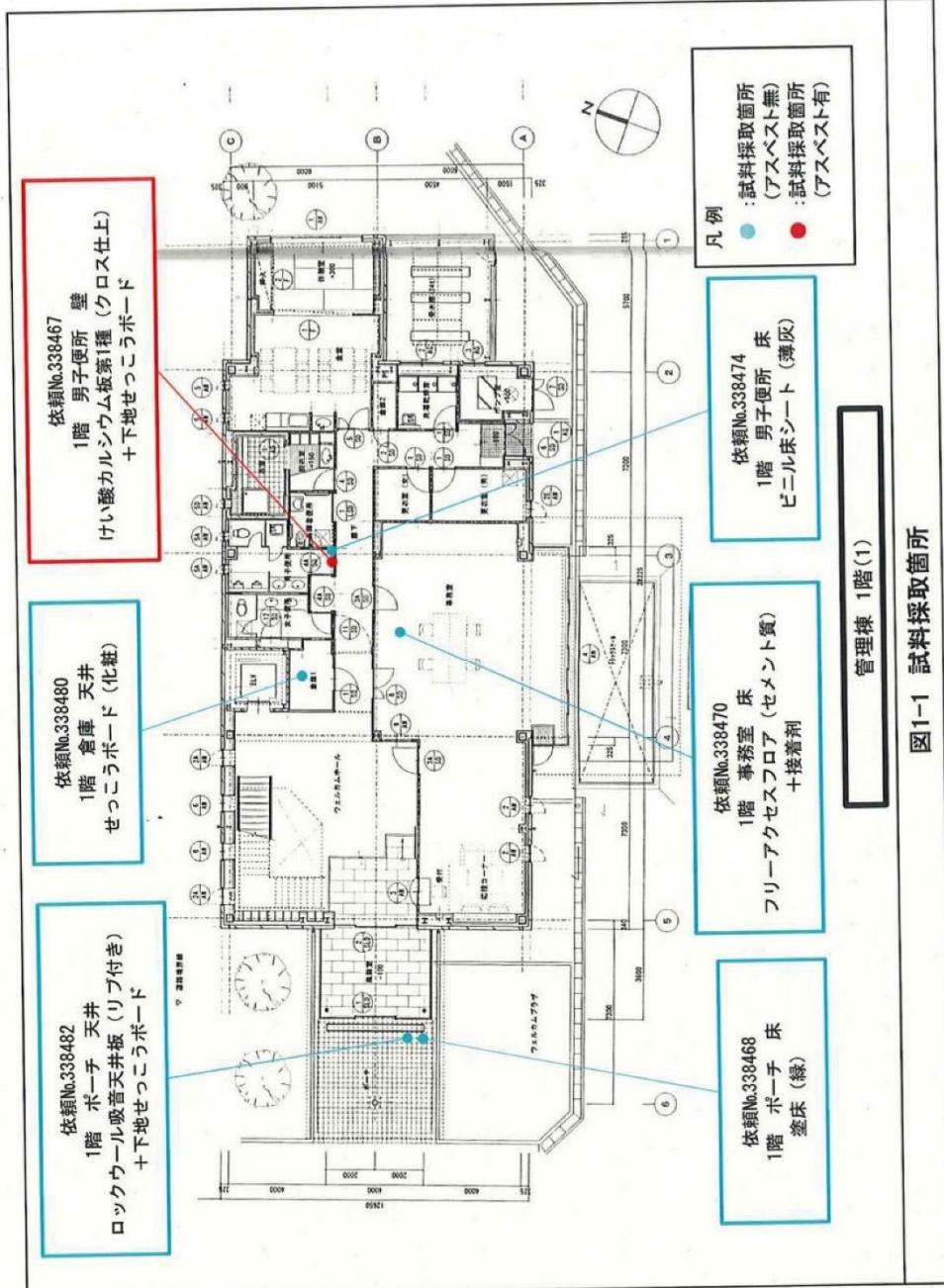
「吹き付けられた石綿等の除去等」及び「保温材等を切断等により除去」を行う場合の作業においては、他の作業場所からの隔離、集じん・排気装置の設置、前室及び設備の設置、隔離空間への入退室時の必要な措置、温潤化等の措置を講じる必要がある。

「保温材等を搔き落とし、切断又は破碎を行わずに、除去等を行う場合」は、床面等必要な部分への隔離養生（負圧不要）、除去する保温材等を薬液等により温潤化等の措置を講じる必要がある。

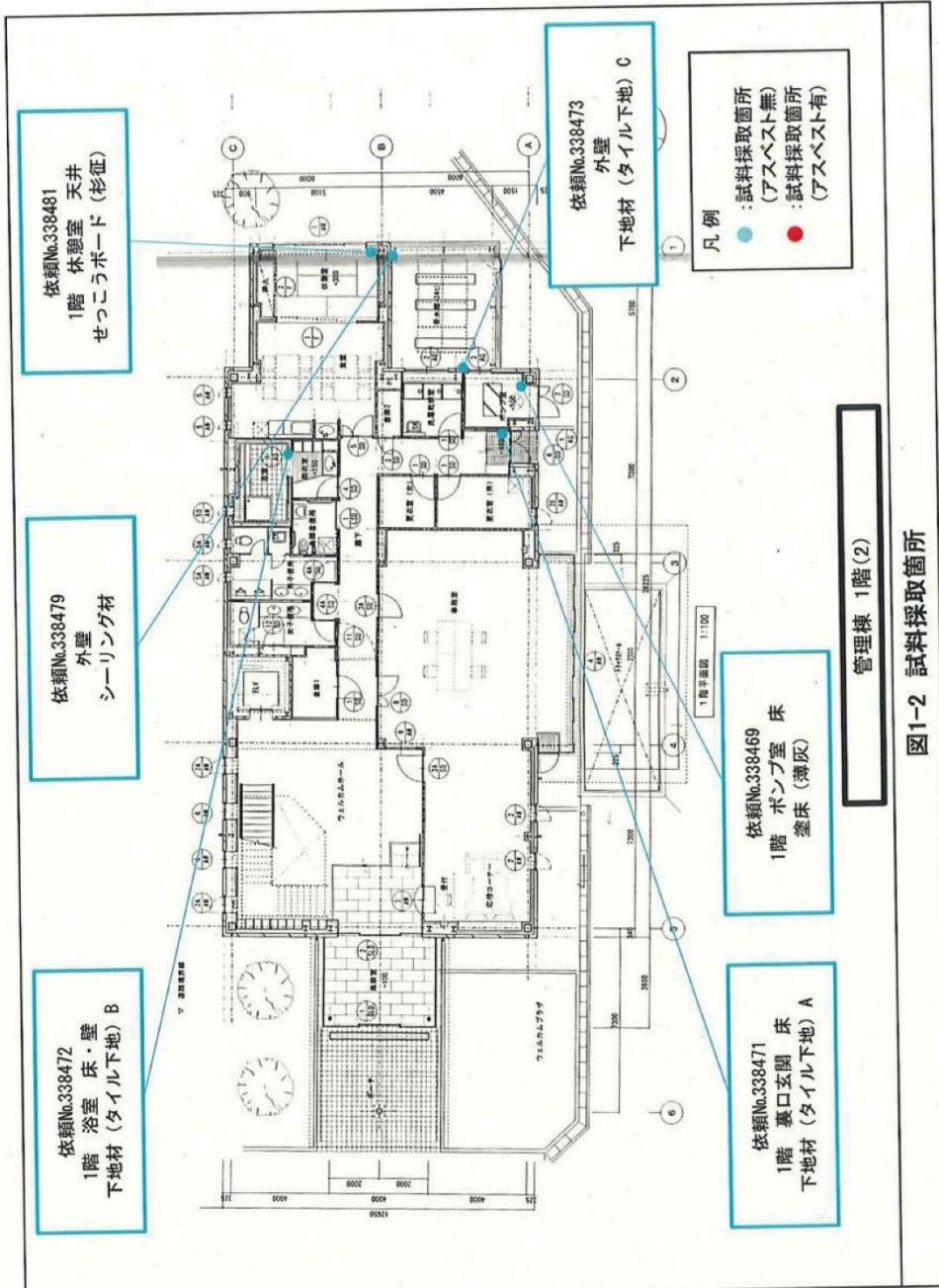
【「（発じん性が比較的低い建材）について】

「石綿含有成形板を除去する作業」においては、切断等により除去する場合は、除去部分を常時温潤する必要がある。切断等により除去する場合は、除去部分の常時温潤化、除じん性能を有す電動工具の使用その他の石綿等の粉じんの発生を防止する措置のいずれかの措置を行う。

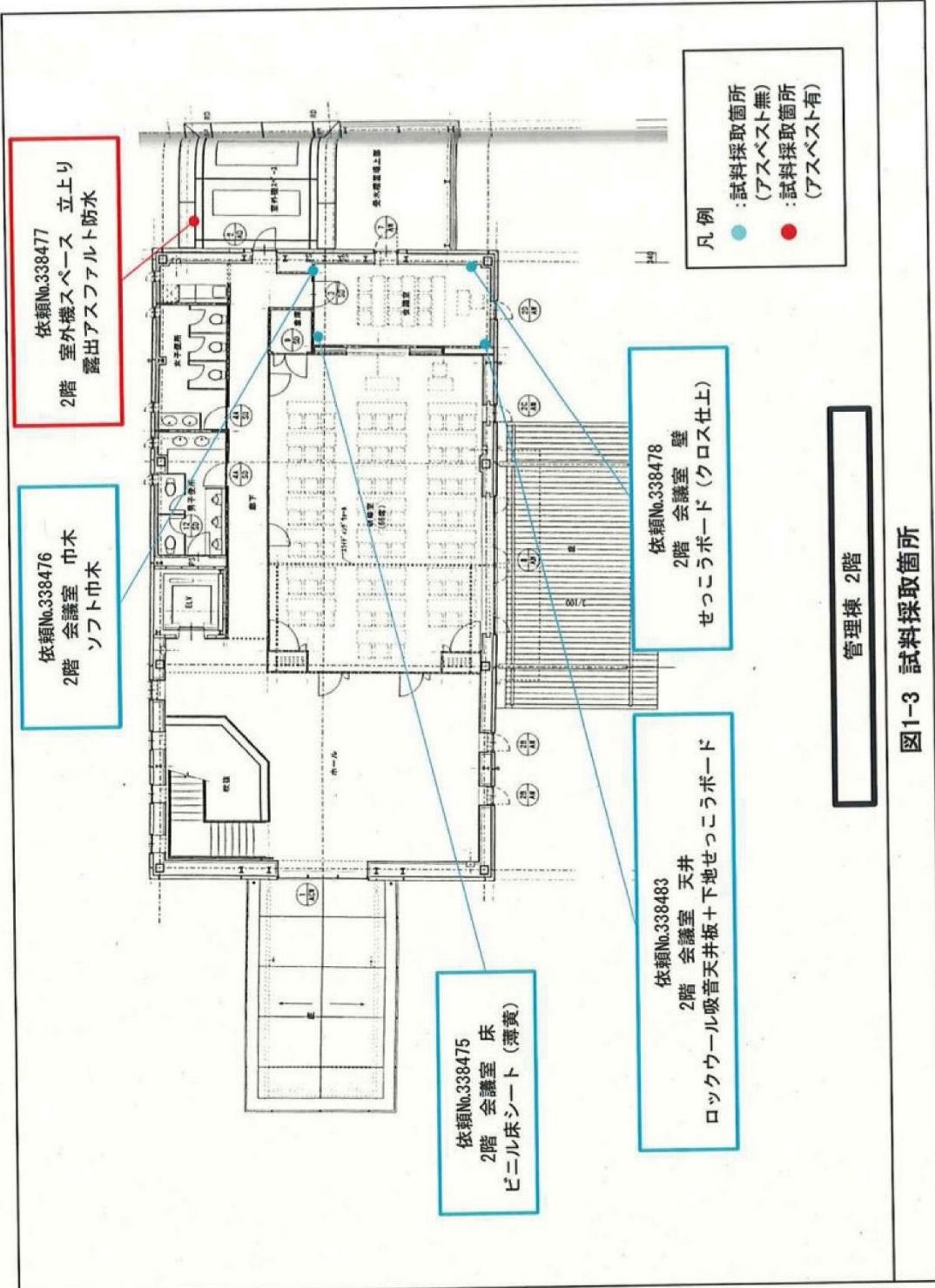
※ II : 石綿含有成形板のうち「けい酸カルシウム板第1種」を切断等の方法により除去する作業を行うときは、当該作業を行う作業場所の隔離（負圧不要）を行い、除去部分の常時温潤化、除じん性能を有す電動工具の使用その他の石綿等の粉じんの発生を防止する措置のいずれかの措置を行う。



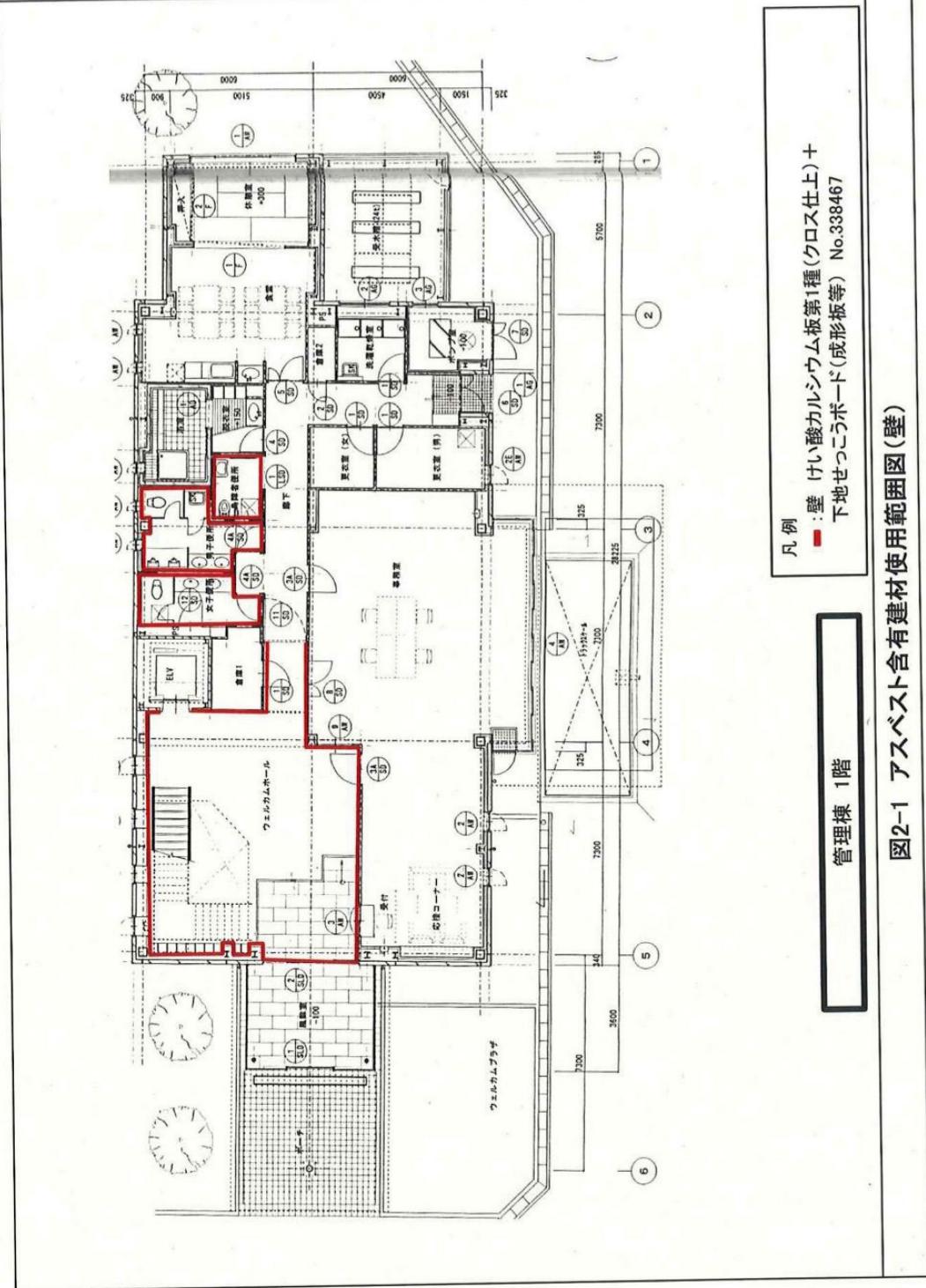
◆図 2-5 アスベスト試料採取箇所 (1)



◆図 2-6 アスベスト試料採取箇所 (2)



◆図 2-6 アスペスト試料採取箇所（3）



◆図 2-7 アスベスト含有建材使用範囲 (1)

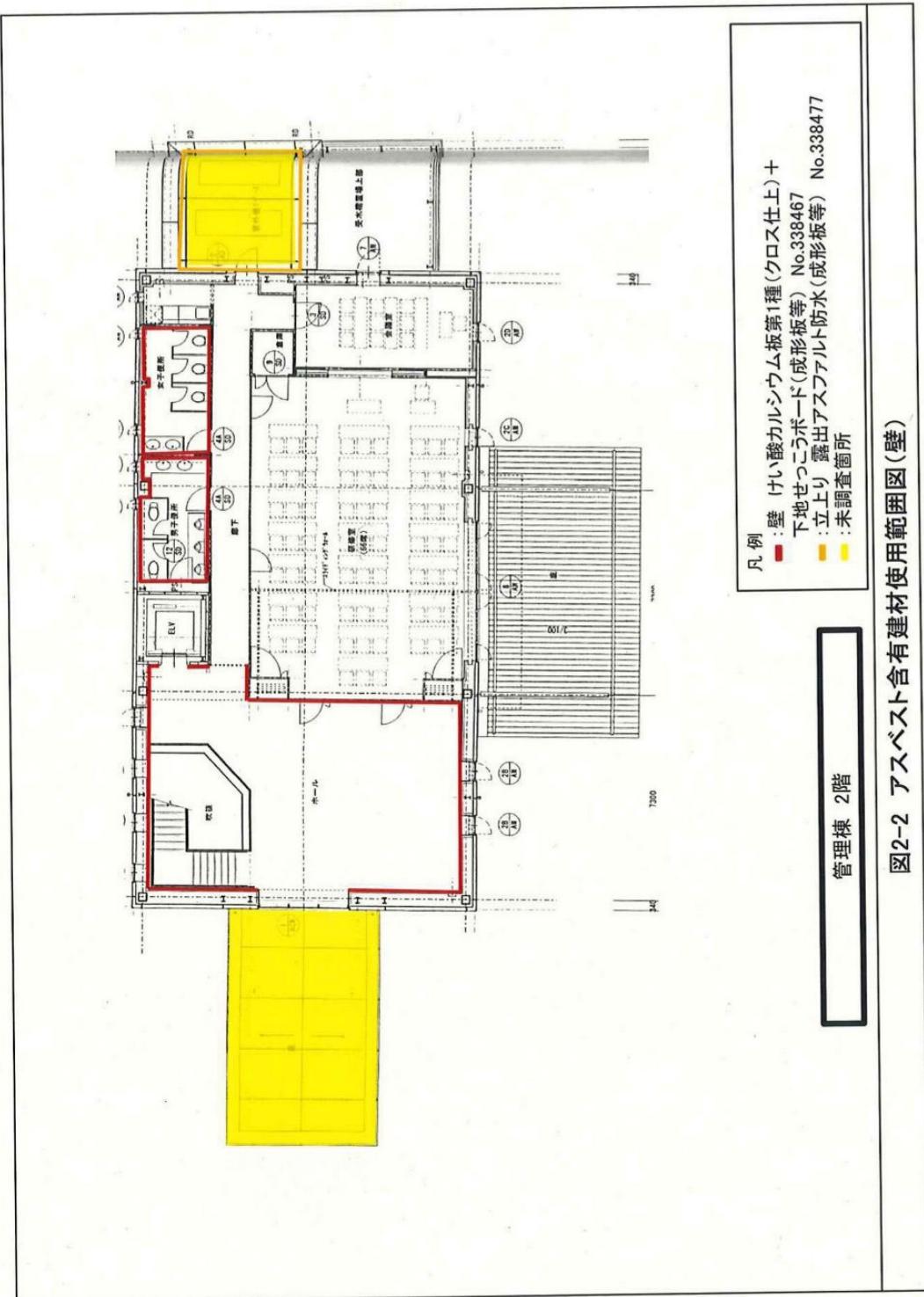
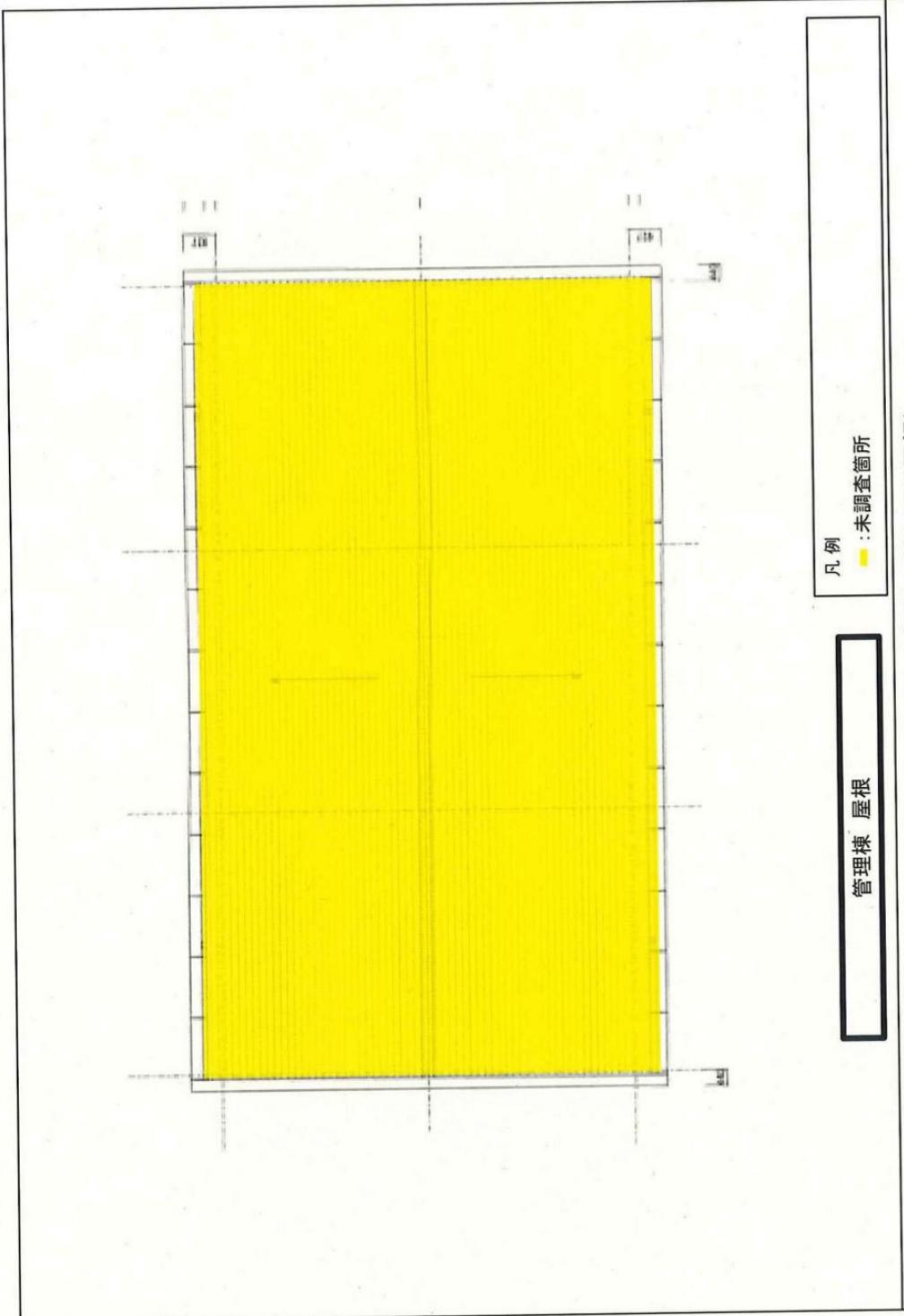


図2-2 アスベスト含有建材使用範囲図(壁)

◆図 2-8 アスベスト含有建材使用範囲 (2)



◆図 2-9 アスベスト含有建材使用範囲（3）

図2-3 アスベスト含有建材使用範囲図(屋根)

(3) 車庫棟

本工事の実施に向けて、本組合にて令和7年3月にアスベストの事前調査を行っている。
事前調査結果を表3-1～3-3及び図3-4～3-5に示す。

◆表3-1 アスベストの分析結果（1）

鹿島地方事務組合 管理者 石田 進 様 報告書 E01008596903A
報告年月 2025年3月

事前調査等結果報告書

物件名称：6アスベスト調査業務委託（広域鹿島RDFセンター）

株式会社環境管理センター
ソリューション事業部
東京都八王子市散田町3-7-23
Tel 042-673-0503

事前調査の結果について、次の通り報告します。

事前調査を終了した年月日	2025 年 3 月 28 日		
調査方法	■ 設計図書調査	■ 目視調査	■ 試料採取
建築物等の概要	建築物(棟)名称	車庫棟	
	建築物所在地	茨城県鹿嶋市大字平井2264番地	
	構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 準耐火 <input type="checkbox"/> その他 / 木造 <input type="checkbox"/> SRC造 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> その他	
	階数	地下 - 階 / 地上 1 階 / 塔屋 - 階	
	延べ面積	134.137 m ²	用途 <input type="checkbox"/> ごみ処理施設
	着工日	1999 年 11 月 1 日	
	竣工年	2001 年 増改築・改修の履歴	-
書面による調査及び目視による調査 (事前調査)を行った者	増築年	- 年 改築・改修年	- 年
	氏名	大宮 秀介	
	資格名等	■ 一般 <input type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 一戸建て等 <input type="checkbox"/> その他	
	講習実施機関の名称	一般社団法人 企業環境リスク解決機構	
分析による調査 (分析調査)を行った者	氏名	奥村 謙介	
	講習実施機関の名称	公益社団法人 日本作業環境測定協会	
	所属する機関又は法人の名称	株式会社環境管理センター 技術センター	
分析による調査 (分析調査)を行った箇所	試験結果報告書、採取図面 参照		
調査対象範囲	■ 全部屋	□ その他 ()	
調査結果概要 (石綿建材が確認された建築材料の種類、未調査箇所)	建築材料の種類	□ 吹付け材 <input type="checkbox"/> 保温材等 <input checked="" type="checkbox"/> 成形板等 <input checked="" type="checkbox"/> 仕上塗材	
	未調査箇所	□ 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	

-2 アスベストの分析結果（2）

調査報告詳細

目視調査の結果、アスベスト含有疑義建材5建材を抽出し、採取分析を行った。調査結果を表1、2に示す。なお、表3に示すガスケットは、各建材の使用範囲が小さく同一性の判断が困難なため、アスベスト含有みなし建材とした。

表1 調査結果（分析結果）

依頼No.	採取箇所（採取部位）	分析結果			建材の種類 ^{*1}
		アスベストの有無	アスベストの種類	推定アスベスト質量分率（%）	
338484	車庫 壁 けい酸カルシウム板第2種	無	—	—	—
338485	天井 屋根用折板断熱材	無	—	—	—
338486	外腰壁 仕上材（灰）	有	クリソタイル	0.1-5	仕上塗材 ^{*II}
338487	外壁 塗装材（白）	無	—	—	—
338488	外壁 シーリング材	無	—	—	—

□：アスベスト含有建材を示す。

表2 調査結果（アスベスト含有建材）

建材の種類 ^{*I}	部位	建材名称	判断根拠	依頼No.	主な使用箇所	備考
石綿含有吹付け材	—	—	—	—	—	—
石綿含有保温材等	—	—	—	—	—	—
石綿含有成形板等	—	—	—	—	—	—
石綿含有仕上塗材	外腰壁	仕上材（灰）	分析	338486	外部	全3層 表層より 1層目 灰色層：不検出 2層目 薄灰色層：検出 3層目 薄灰色層：不検出

表3 アスベスト含有みなし建材

建材の種類 ^{*I}	建材名称	部位	主な使用箇所など	根拠など
石綿含有吹付け材	—	—	—	—
石綿含有保温材等	—	—	—	—
石綿含有成形板等	ガスケット	配管	ポンプ室	各建材の使用範囲が小さく 同一性の判断が困難
石綿含有仕上塗材	—	—	—	—

◆表 3-3 アスペクトの分析結果（3）

※ I : 建材の種類

「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル(環境省・厚生労働省)」に示された石綿含有建材の種類ごとに応じた分類。
除去等の作業を行う際は、建材の種類や作業内容に応じて、飛散防止対策を取る必要がある。

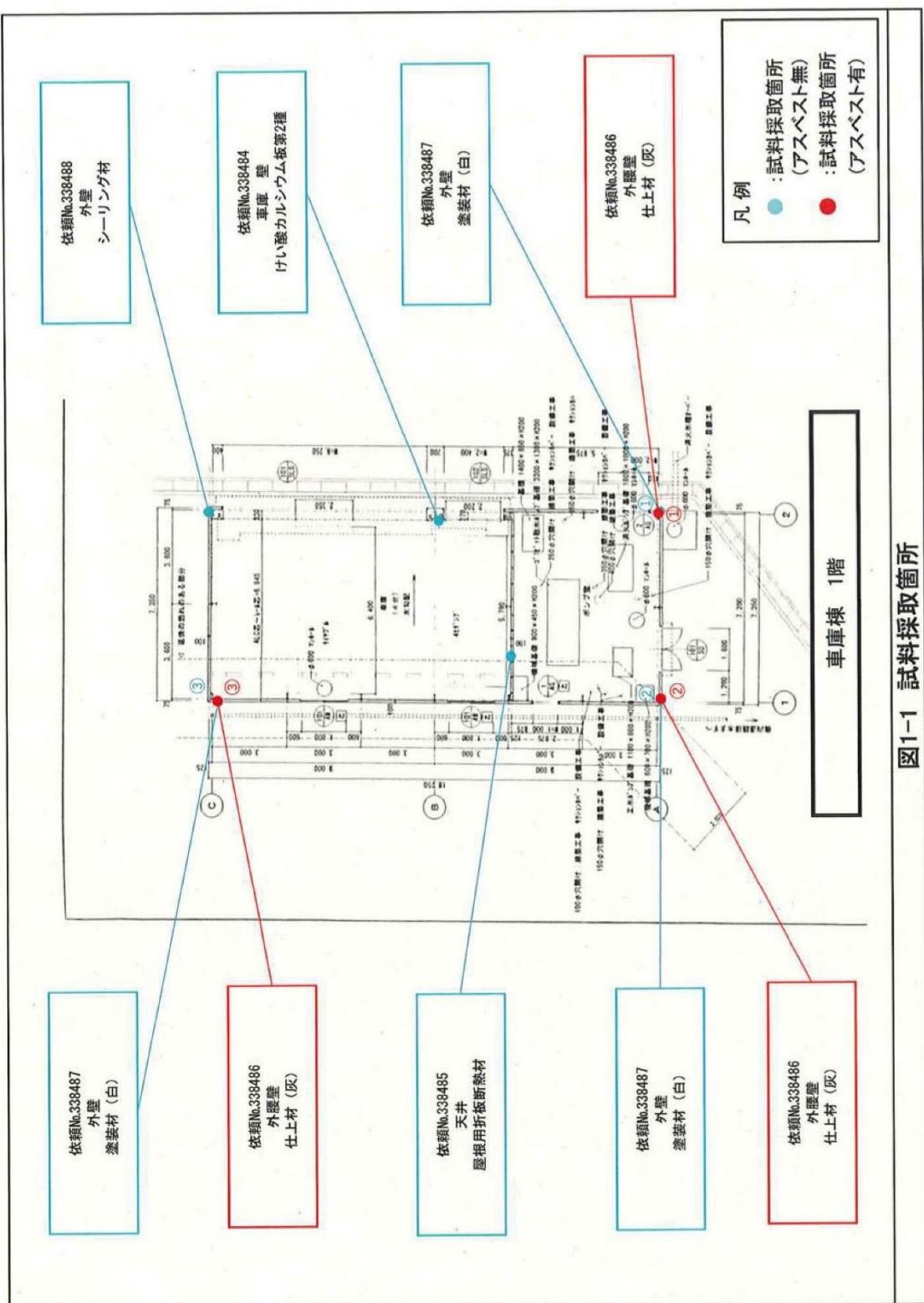
石綿含有吹付け材	(発じん性が著しく高い建材)
石綿含有保溫材等	(発じん性が高い建材)
石綿含有成形板等	(発じん性が比較的低い建材)
石綿含有仕上塗材	(発じん性が比較的低い塗材)

《建材の種類に対する一般的な作業手順》

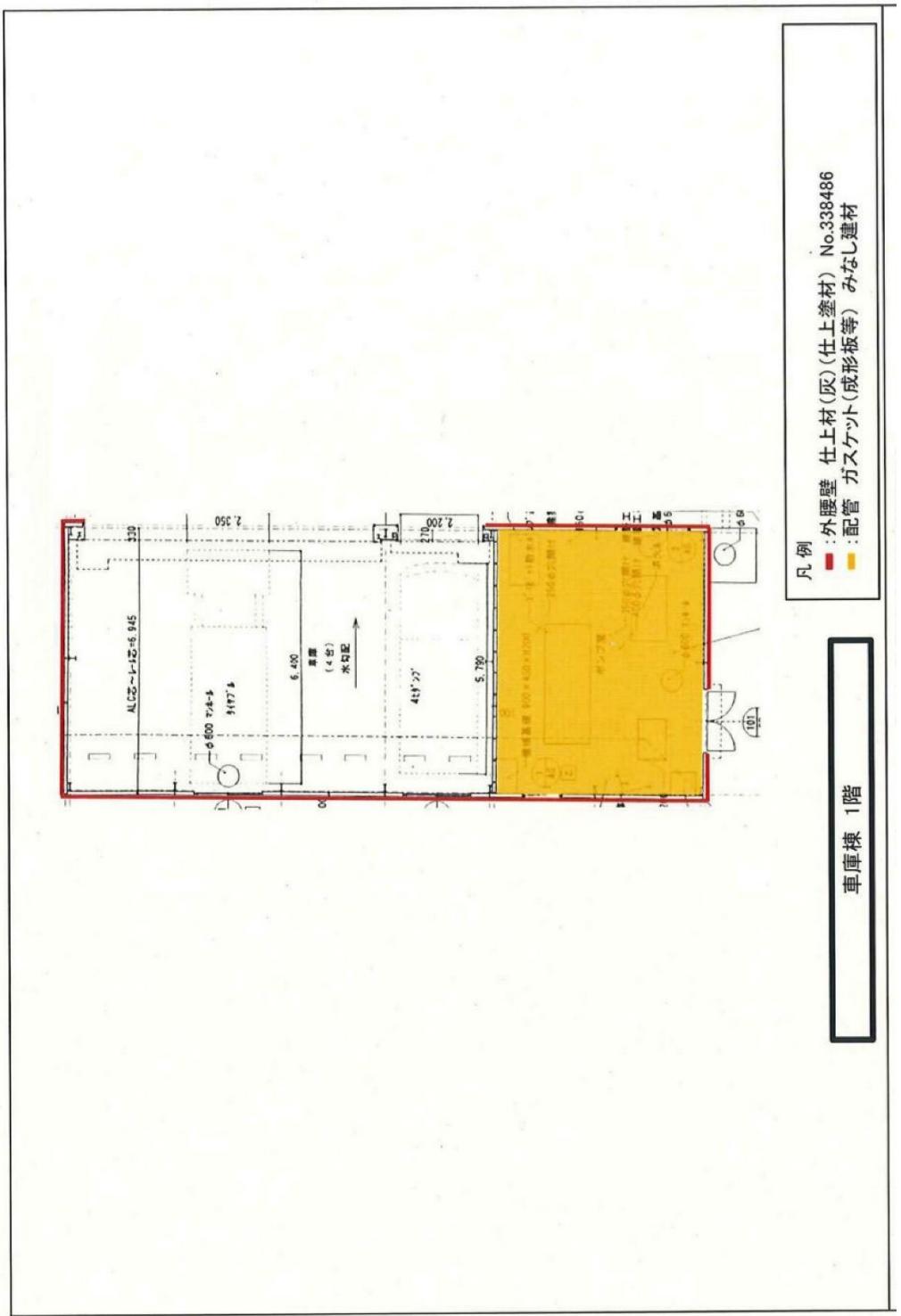
【「(発じん性が著しく高い建材)」及び「(発じん性が高い建材)」について】
「吹き付けられた石綿等の除去等」及び「保溫材等を切断等により除去」を行う場合の作業においては、他の作業場所からの隔離、集じん・排気装置の設置、前室及び設備の設置、隔離空間への入退室時の必要な措置、湿潤化等の措置を講じる必要がある。
「保溫材等を撞き落とし、切断又は破碎を行わずに、除去等を行う場合」は、床面等必要な部分への隔離養生(負圧不要)、除去する保溫材等を薬液等により湿潤化等の措置を講じる必要がある。
【「(発じん性が比較的低い建材)」について】
「石綿含有成形板を除去する作業」においては、切断等により除去する場合は、除去部分を常時湿潤する必要がある。
「仕上塗材を除去する場合は、常時湿潤な状態とした上で除去する必要がある。
また、電動工具(ディスクグラインダー等)を使用して除去する場合は、作業場所の隔離(負圧不要)を行い、除去部分の常時湿潤化、除じん性能を有す電動工具の使用その他の石綿等の粉じんの発生を防止する措置のいずれかの措置を行う。
石綿を含有する建築用下地調整塗材は、法令上は石綿含有成形板等の作業基準が適用されるが、除去に当たっては、湿潤化等の措置を実施する必要がある。

※ II : 仕上塗材

下地調整塗材に係る作業をする場合には、塗材のどの層に石綿があるのかを明らかにして、工法・作業を選択する必要がある。
仕上塗材を除去する場合は、常時湿潤な状態とした上で除去する必要がある。
また、電動工具(ディスクグラインダー等)を使用して除去する場合は、作業場所の隔離(負圧不要)を行い、除去部分の常時湿潤化、除じん性能を有す電動工具の使用その他の石綿等の粉じんの発生を防止する措置のいずれかの措置を行う。
石綿を含有する建築用下地調整塗材は、法令上は石綿含有成形板等の作業基準が適用されるが、除去に当たっては、湿潤化等の措置を実施する必要がある。



◆図 3-4 アスベスト試料採取箇所



◆図 3-5 アスベスト含有建材使用範囲